

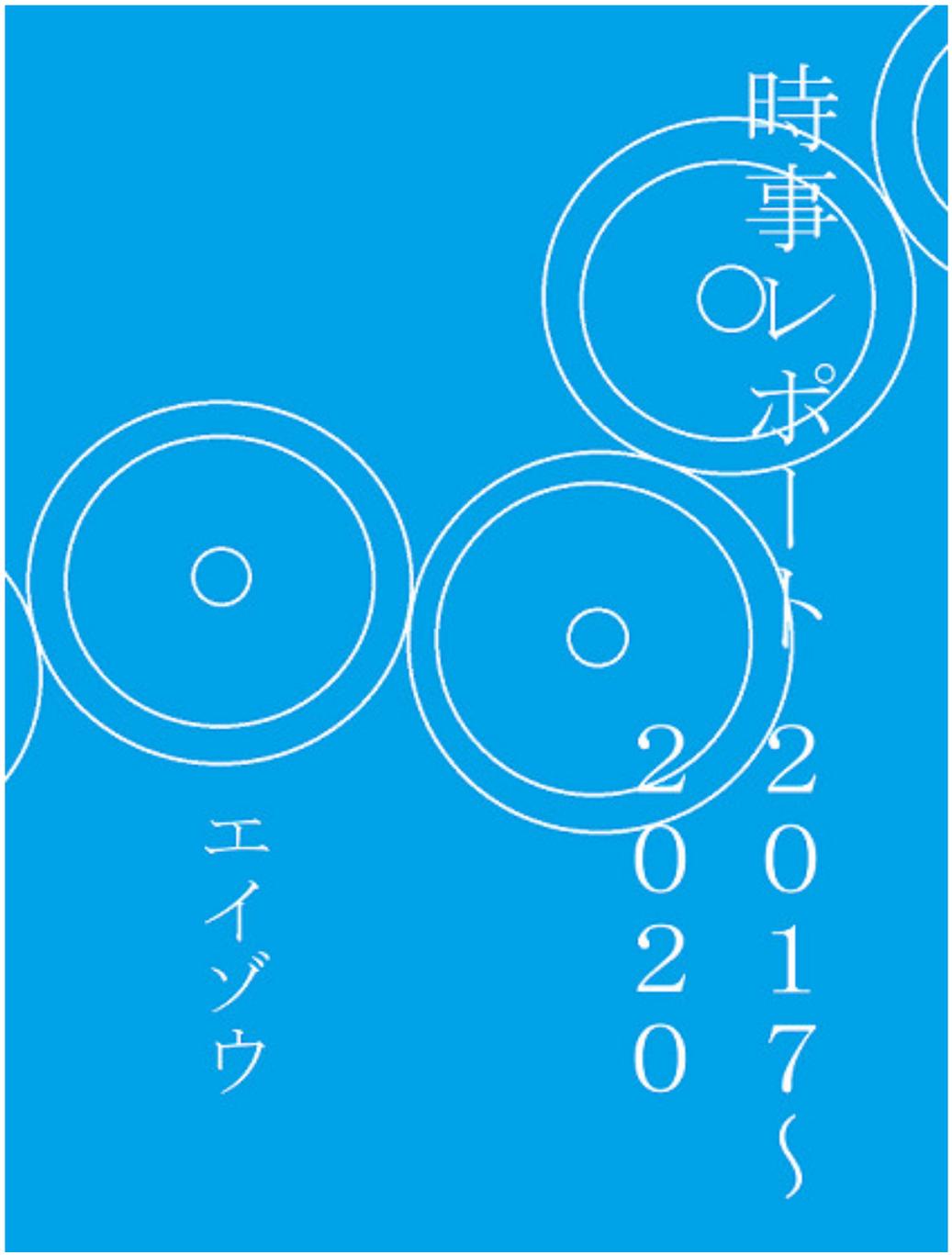
時事
レポート

ト

2017

2020

エイズ



目次

はじめに

2017年夏から、あるwebサイトでコラムの連載を始めた。本線の話は、2014年から続けている随筆書に書いているが、どちらかというと、時事に近いもの、すぐに述べたいことをコラムに書いている。まだ、単行本1冊にするには分量が足りないが、今年の春に、訳あって、いったん連載を終了したので、いい機会かと思い、1冊にまとめることにした。今は、また連載を再開したので、またたまたま、書籍にしてもいいと思う。3年半で新書1冊くらいの分量なので、また、それと同じくらいの期間は必要かと思う。

案外、経済のことを良く書いていると思う。それは、経済社会に生きているわけだから、多くなって当然であろう。経済社会から離れば、思想だの哲学などを書けるかもしれないが、いまのところ、それをやりたいとも思わない。そういうわけで、わりと現実的な主張に（通る通らないではない。）なっていると思う。読者の何らかのたしになれば幸いである。

2021年9月17日セミが鳴かなくなった頃

1. 観察001

2017/09/04 02:54

s n sの様子をみて思ったことがある。昔の（今でもそうだが）手紙や文章は、哲学者がどう言った、誰がどう言ったと本や言葉を引用したが、今は誰かが作った動画や画像を引用する。これは2000年代にはあって、動画投稿サイトが支持をえての結果だろう。しかしながら、そういった「手紙」の（「文章」はHTMLがある。）フォーマットが一般的になっている訳でもない。多分作ったらそこそこ支持されるのであろうが（残念ながら今の私はその気がない）。

それならHTMLメールを使えと。もっともな指摘だ。それだとメーラーだけの問題だ。

2. 本の市場価格

2017/09/09 07:06

本は単行本で1500円前後、文庫本で500円前後。高いのになると4000円したりまちまちである。また、中古市場もある。ではいったい本はどれくらいの値段で売るのが最適なのか。もちろんコストもあるのだが。

aさんの愛読書があって、一年で3回読んだとする。またその本は1500円だったとする。3回読まれるくらいだからいい本であろう。それが1500円。では、aさんが1回しか読まなかった本はどうなるか。その本も1500円で手に入れたとしよう。3回読まれた本に比べ、効用は1/3である。その効用をベースに単純に計算すると、3回読まれた本の1/3だから、ふさわしい価格は500円ということになる。これをもとに考えると「出版不況」というのもうなずける。「本」が想定される価格よりも高いのである。しかし、コストがかかってこの値段では出せなかったり。でも文庫本で利益ができるならできるはずである。

3. 万聖節

2017/11/01 00:53

今日がハロウィーンということでテレビでは渋谷のにぎわう様子（ただ押し合うように移動する人々ですが）が写しだされていました。私が10代の頃は、「ハロウィーンってなんですか？」という感じだった。もっと言うと、アメリカの高校（だったか）への留学生がやりすぎて射殺されるという事例で、「ハロウィーン」のことを少し知りました。しかし、昔の辞書で調べてみると、「万聖節」とでてきます。多分、聖人をまつる期間なんでしょう。それはどうも11月1日にするらしい。その前の余興みたいなに盛り上がっているんでしょう。‘H a l l o !’というのと、同じ語幹の‘H a l l o w’が想像されます。前者は「もしもし」で、後者は「聖人」。その期間ということで‘H a l l o w e e n’ということでしょう。

しかし、俗っぽくなると、挨拶も「ばかやろう、どうした？」というような乱れがでてきます。それが（私が思うには）現在の日本の中学校などで教えられている‘H e l l o !’です。その語幹は‘H e l l’で「地獄」です。H a l l o w e e nも格好をみれば‘H e l l o w e e n’になっているから乱れはあると思います（もっともふざけてでなく本気でやられたら困ります。）。だれかが、‘a’を‘e’に換えたのしょう。そんな日だから、胸を張って‘H e l l o !’と言えますね（ちょっと遅かった。）。

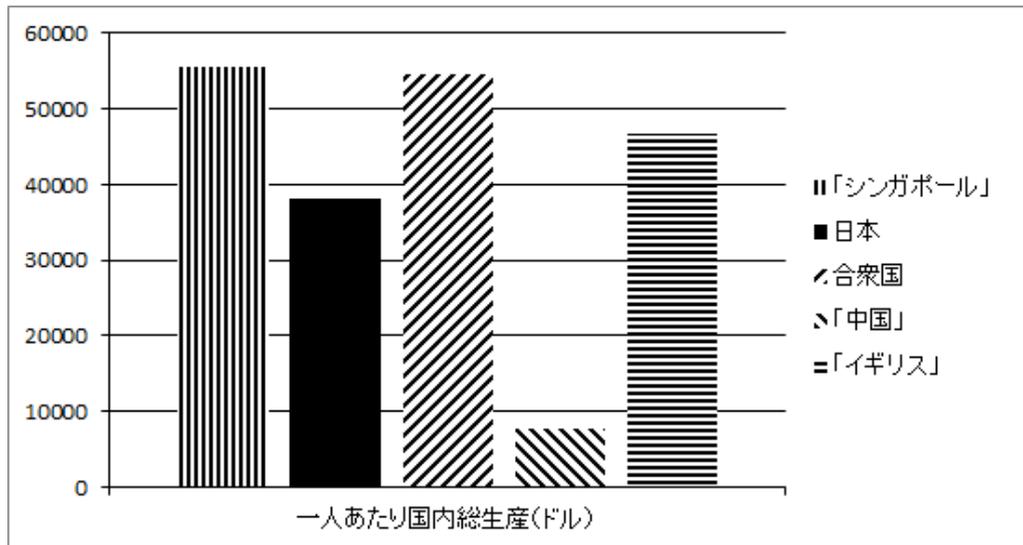
4. 速報密度わり国内総生産

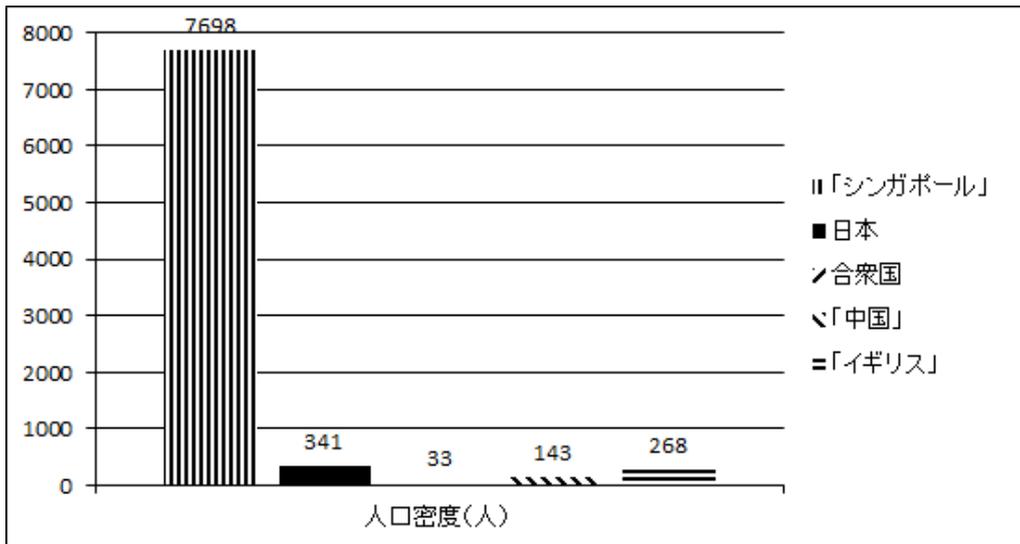
2017/12/08 06:40

国内総生産で数字を示す方法はそこそこ定着しているのではないのでしょうか。一人当たり国内総生産というのもあります。日本では低成長が続いていますが、隣の国では割と高い成長で日本は総額では追い越されたと言われます。しかし一人当たりで見ればまだまだだと。

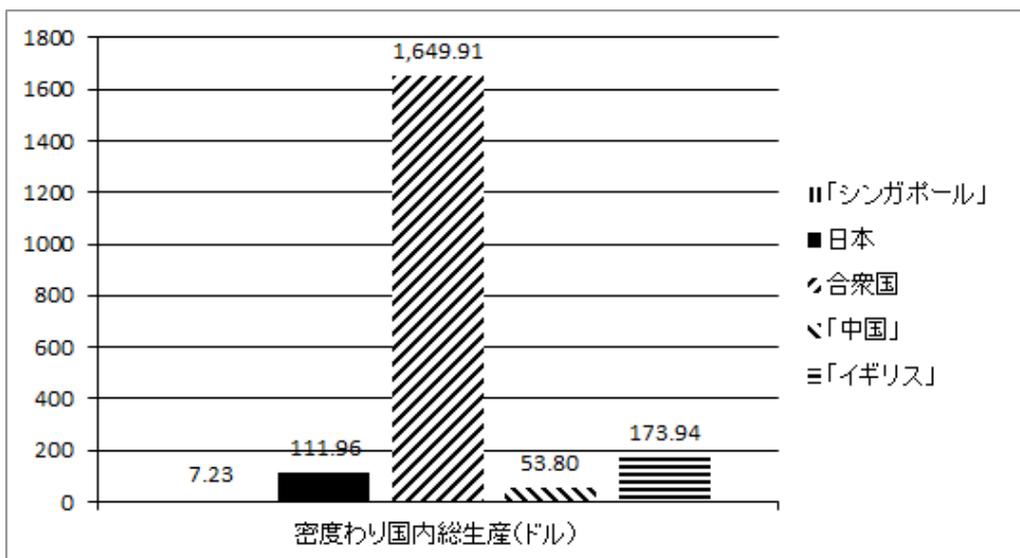
一方小さい国が一人当たり国内総生産で上位を占めていると言われます。しかしながら、本当にそれが経済力を示しているのかという疑いもあります。なぜなら、小さい国は狭い範囲ですばやくお金を動かしますが、大きい国だと地方までに運ぶには時間がかかります。そんな理由で小さな国の方が生産力が大きいというのは計算上仕方がないですが、実際の生産力を表していないようにも思えます（単純な言い方をすれば家族の間でお金を動かしているようなさまを数字で出している）。それならどうすれば生産力がみれるか。ということで、密度わり国内総生産を考えました。計算式は以下の通り。

国内総生産（一人当たりでも可） \propto 人口密度





den.png



mgd.png

この数値が大きい場合は距離の長い取引をしつつ生産力が高いことを示します。

小さい発展国である「シンガポール」は一人当たり国内総生産は「55635」（2014年）（ドル）ですが、人口密度が「7698」（2010年）（人）で、密度わり国内総生産（以下、密度わり）は7.23（ドル）。非常に小さい数字です。瞬時に長距離を動かせる金融などは強いでしょうが、運ぶものが大きい長距離輸送は苦手なようです（例えば1キロメートルあたり7.23ドル運ぶような社会だと言えるでしょう。もっと分かりやすく言うと、同じ距離にいる人といくらやりとりするかです。）。良く言えば効率的

です。

日本は「38177」ドルで、「341」人です。密度わりは111.96ドルです。

合衆国は、「54447」ドルで、「33」人。密度わりは1649.91ドルで、日本より15倍もお金か製品を同距離（対人間隔）で動かしています。現状最も豊かな国でしょう。ただ、効率を考えると逆に最も非効率な経済と言えるかもしれません。

「中国」は「7693」ドルで、「143」人。密度わりは53.80ドルで、国内総生産で日本を抜いた「中国」ですが、日本の半分程度の豊かさと言えるかもしれません。

「イギリス」は「46615」ドルで、「268」人。密度わりは173.94ドルで、日本の1.5倍の豊かさと言えるでしょう。

合衆国の豊かさはここ20年でも30年でも圧倒的でしょうが、たまに言われる「中国」が合衆国に（経済的に）追いつくというのは、10年、20年ではありそうもないようです。まだ日本の半分程度ですから。追いつくとしたら100年、200年先なのではないでしょうか。

日本は90年代にはいって、欧米各国に足並みをそろえ、休日を増やしたり、勤務時間を減らしたりしました。その根拠に国内総生産の数字や勤務時間の数字が使われたでしょう。また合衆国には追いつかなかったものの、欧州には追いついたという自負があったでしょう。しかし、それはどうも正しいのだけど正しくない数字を信頼してしまったような気がします。

欧州では日本が低成長にはいっても、のびし続けたと言われます。上の一人当たり国内総生産をみても密度わりをみても「イギリス」の方が日本より上位になっている。慢心してしまっはいけない。また「追いつけ追い越せ」をするべきかとも思います。

出典：総務省統計局『第67回日本統計年鑑』<http://www.stat.go.jp/data/-nenkan/67nenkan/zenbun/jp67/top.html>（2017年12月8日閲覧）を加工して作成。

5. 家電を考える001

2017/12/09 18:12

中学生になるかという頃、CDラジカセが欲しいと思った。それまではテレビゲームをすることが多く、あまり音楽は聴かなかった。それでも、国内メーカーのポータブルカセットプレイヤーを持っていた。CDというメディウム自体に興味をもったわけではないが、新しいと思えたんだろう。お金がたまると買いに行った。

下調べをして、「グラフィック・イコライザー（音域を区切って音量を調整できる機能）」がついたものを買った。以降CDを買うようになる。それを境にテレビゲームのカートリッジはあまり買わなくなった。音楽を作るようにもなった。よく考えてみれば、私が音楽を始めたのは、これを買う買わないがあったからだろう。

しかし、バンドの音は別のラジカセで録った。小型の方が扱いやすいからだ。それほ

ど大きい。ただバンドの音は、買ったラジカセを使って複製した。親父も小型のラジカセで講演をよく聞いていた。それはずっと続けていた。私がこどもの頃にすでにラジカセはあった。当時ののは、やや大きくて縦長だった。買ったCDラジカセは奥行きがある。倒れないようにという設計なんだろう。そのうちギターも始めた。

そのラジカセは4年ほどでCDが不調になった。今考えれば修理という選択があったろう。しかし直していない。1年あたりの維持費を計算すると13000円ほど。その頃は経済感覚がなかったのでそういうことは考えなかった。

もっとも今からいうと、その後に買ったコンポの維持費も同程度。90年代の日本製のオーディオはその位だったんだろうと思う（身近な例から）。その後の00年代のミニミニコンポは使っていないが、00年代から10年代にかけての中国製ラジカセで（メーカーが生産をうつした。）維持費が5000円以下。いかに今の（今もだろう）中国製の製品が割安かわかる（音質、機能などの差はあるが）。多分ちょうど旬なのではないだろうか。

6. 家電を考える 002

2017/12/10 04:01

ただ、（中国製が）優秀と言えない面もある。一番ひどかったのが、ブルーレイレコーダーだ。1年で壊れた。維持費は50000円。これに懲りてブルーレイレコーダーは買っていない。年間50000円は高すぎる。パソコンも興味があるが試していない。やっぱり1年で壊れたら50000円だろう。

私はパソコンを90年代終わりに始めたが、最初の機械は4年で壊れた。維持費45000円。次のも40000円程度。その次も40000円程度だ。日本製でもその位になる。私は映像をあまりみないからブルーレイの50000円は勘弁してほしいが、パソコンなら仕方ないと思う。最近是中国製のパソコンの方が多くなっているから維持費も悪くないのだろう。50000円のもの3年使えば日本製の40000の維持費に勝って、16000円ほどになるだろう。そうだとしたらパソコンも中国製の方が優秀になっているとも言えよう。

そういう製品が他にもある。高機能携帯電話だ。日本独特のものではないあれだ。私は携帯パソコンと呼んでいる。これは所有していないので断定はできないが、日本製のものが70000円で3年使えたとすると、維持費が23000円。中国製のものが40000円で3年使えたとすると年間13000円とこういう差ができていのではないかと思える。やっぱり中国製が増えるという流れだ。日本独自の私が使っている携帯電話は年あたり8000円以下だ。

7. 家電を考える 003

2017/12/11 08:55

90年代の日本製のテレビは優秀だ。20年もった。年あたりの維持費が2500円。その時代が旬だったのではないかと思われる。最近のは使っていないのでわからないが高いという印象がある。15000円で5年使えば30000円。中国製でも50000円で5年使えば10000円。とうてい90年代の日本のテレビには及ばない。さきほどブルーレイレコーダーの話をしたが、

90年代のVTRも優秀だ。50000円で18年使えた。維持費は2800円。これも旬だったんだろう。そういうのを経験してしまうと年間30000円などを払うのは馬鹿らしくなってくる。このテレビとレコーダーも維持費が安い中国製が増えるんだろうと思われる。それでやがて旬を迎えるかもしれない。

8. 家電を考える 004

2017/12/12 07:02

私が使っていたラジカセやコンポは維持費が14000円。今旬であろう中国製のラジカセは5000円以下。なぜCDラジカセは日本製のままで旬をむかえなかったのか。一つの答えは費用が安いところで作るという方針がそうさせた。一つは90年代にはいつて半導体を使った設計に製品を変えていったことだろう。

私はテレビゲームのカートリッジという半導体製品を沢山買った。また80年代から液晶ディスプレイを搭載する機械が増えてきた。原始的なのは電卓だが、そういうディスプレイを面白いと思っていた。パソコンの発達もある。90年代のCDラジカセやコンポはそういう製品を使うようになっていった。

ある製品を修理に持っていったら基板交換が必要と言われた。80年代のコンポは、手作業で配線していたようだが、90年代のからは基板におさめるようになっていったようだ。もっといえばパソコンに近くなったのである。そういう機能は必要ないかもしれないが、初めて触れる方は面白かった。その面白みのために、またパソコン的なものの発展のために安くはならなかったのだろう。

その後メーカーはパソコンも作り始めた。そうしているうちに中国で生産するようになった。多分付加価値が低いと考えたのだろう。たしかにパソコンは維持費40000円の高額商品である。しかし、他の製品でも低機能、低価格な中国製と高機能、高価格な日本製が選択できるような状況ができていった。

9. 家電を考える 005

2017/12/13 04:11

安いものと高いものと製品の選択ができるようになったというのは結構だが一つ問題をはらんでいる。安いものが00年代からもっというと円高が始まった85年くらいから買えるようになっていき、物価は下がったとも言われる。安いか高いかで選ぶと安いものが売れる。そういう理由で、日本製の製品が売れづらくなったと思われる。

家電だけでなく洋服もそうだ。そうするとどうなるか。作る人も減らす。それが続くとやがて(人的な面で)作れなくなる。そうすると日本製は時間につれてつくれなくなる

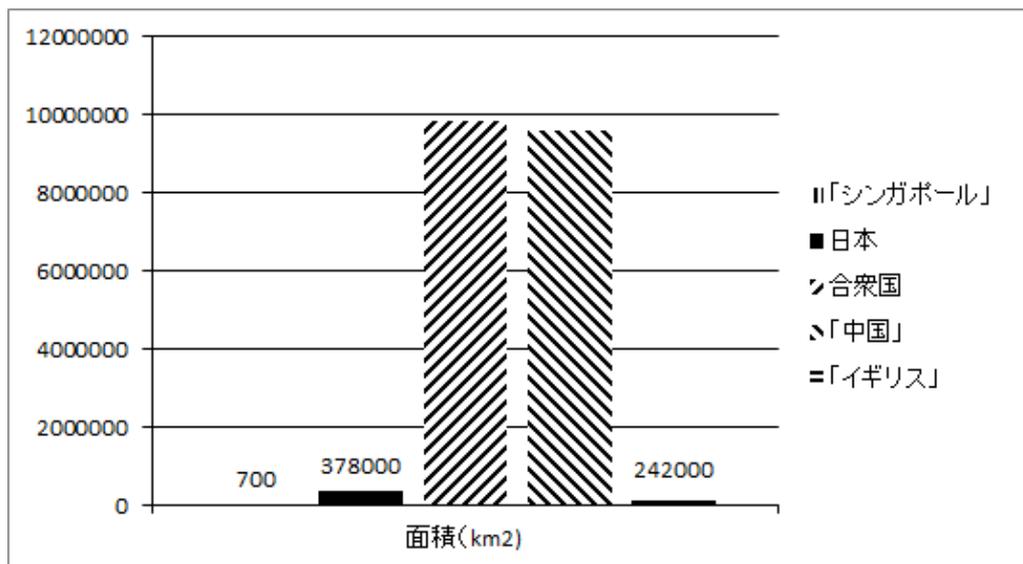
のだ。そうすると、それらの製品は輸入だよりになる。ラジカセなんかの例では90年代に作っていた当時の30代が今55ぐらいになってまだ作れる技術はあるが、あと10年すると退職する。そうするとラジカセは日本では作れなくなる。そういう製品が他にも沢山あると思われる。

そういう意味で高付加価値戦略は正しかったのかと疑いが残る。輸入ばかりだと企業はもうかっても、財布から金が本当にでていくことになるのであるから。安いので助かりますが。

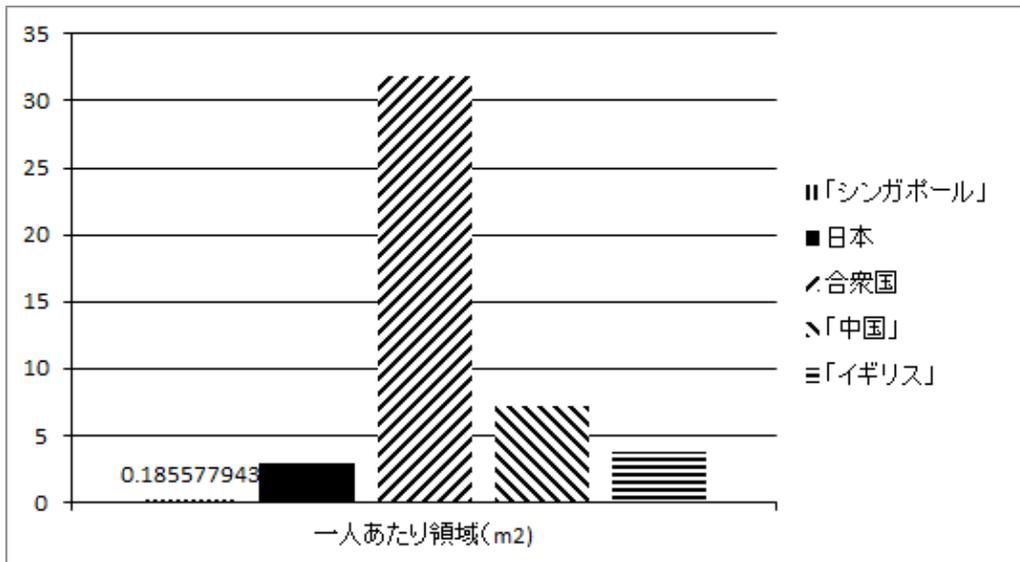
10. 「中国」は農業をやめたか

2017/12/15 05:18

GDPについてシリーズ2回目です。前は、国土が狭い方がGDPが大きく出やすいが、それで本当に経済力がわかるのかということでした。2回目の今回は、国土が狭いっていうけどどんな感じという題です。1回目でもとりあげた各国の面積は以下の通り。



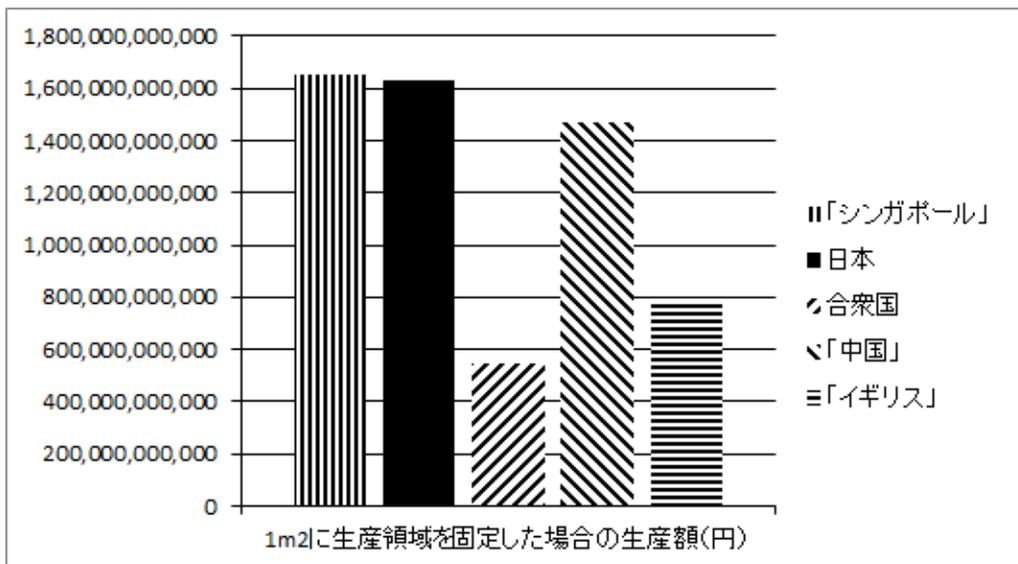
圧倒的に合衆国、「中国」が大きいです。この数字で一人あたりの領域（面積）を計算してみます。



「シンガポール」は0.19 m²で、一人あたり4 cm四方程度しかありません。これだと座ることも立つこともできません。こうした事態を解消するために高層ビルをつくります。

日本の一人あたり面積が2.98 m²ですからこれを基準にすると、1.5倍の高層ビルが「シンガポール」にはあることが考えられます（実際に確かめていませんが）。その日本もあまり広い方ではありません。1.7 m四方の領域が確保されている程度です。4畳半の1/4程度でしょうか。やっぱりビルを建てるでしょう。合衆国でも5.5 m四方くらいです。やっぱりビルを建てるかもしれません。農業ができなくなりますから。合衆国で農業ができなくなったら、日本の食糧自給率は40%程度ですから、30%を合衆国から輸入しているとすると、30%の人が飢え死ぬことになるでしょう。それはよくないから、やっぱりビルを建てるでしょう。

「イギリス」は農業が好調のようです。日本と一人あたり領域はそれほど変わりませんが自給率は良いようです。



次はGDPを一人あたり領域でわった数字です。領域を1㎡とした場合の生産額です(上図)。

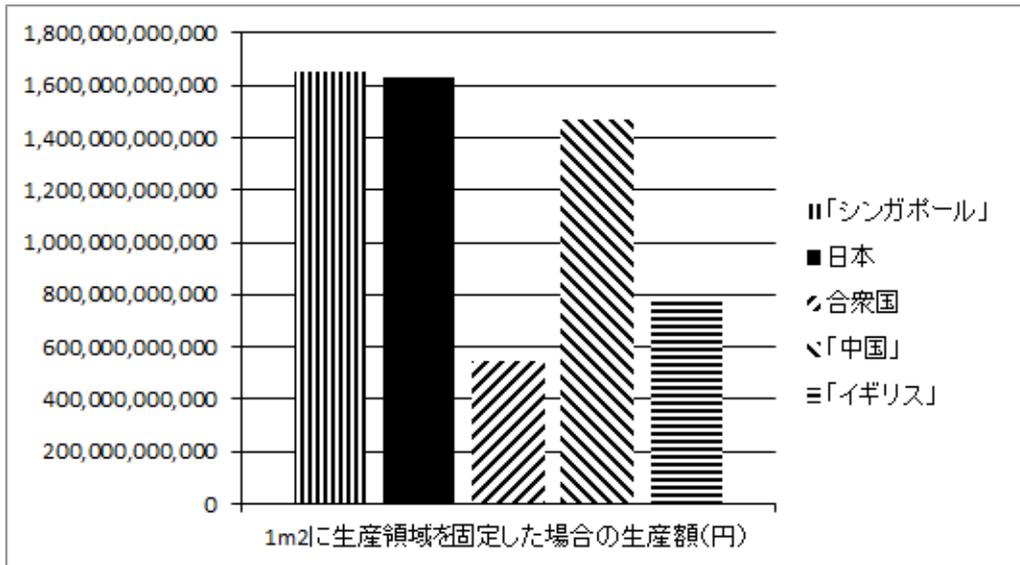
「シンガポール」と日本はそうかわりません。狭いところでよく仕事をしているということです。「合衆国」は農業が盛んなだけあって、狭い条件では難しいようです。「イギリス」も農業を重視しているのでしょうか。「シンガポール」は食糧を輸入に頼っています。日本も半分以上そうです。だから狭いところで生産額を上げられます。「消費国家」としてもいいかもしれません。「中国」も農業国家でしたが、これをみると、農業がふるっていないのがわかります。ほとんど「シンガポール」や日本とかわりません。これらの国は狭いところでGDPを上げています。知的ワーカーが増えているのでしょうか。中国もはやこの数字みると、知的ワーカーが「シンガポール」や日本並みに増えているようです。だから中国を工場とみる段階はもはや終わったかもしれません。

どうも日本ではGDPで経済をみる人が多いようです。しかし、農業生産についてはあまり言いません。「消費国家」ですから食糧が輸入できなくなるとそれでかなりの数の人が飢え死にします。そうしないために食糧を輸入します。しかし、この数字から言えそうなのは知的ワーカーが育った中国に食糧を買い負けてしまうことが考えられます。だから食糧価格は高騰するでしょう。日本でつくればいいのですが、どうも畜舎で生産することをやめられないというように思えます。

出典：総務省統計局『第67回日本統計年鑑』<http://www.stat.go.jp/data/nenkan/67nenkan/zenbun/jp67/top.html> (2017年12月8日閲覧)を加工して作成。

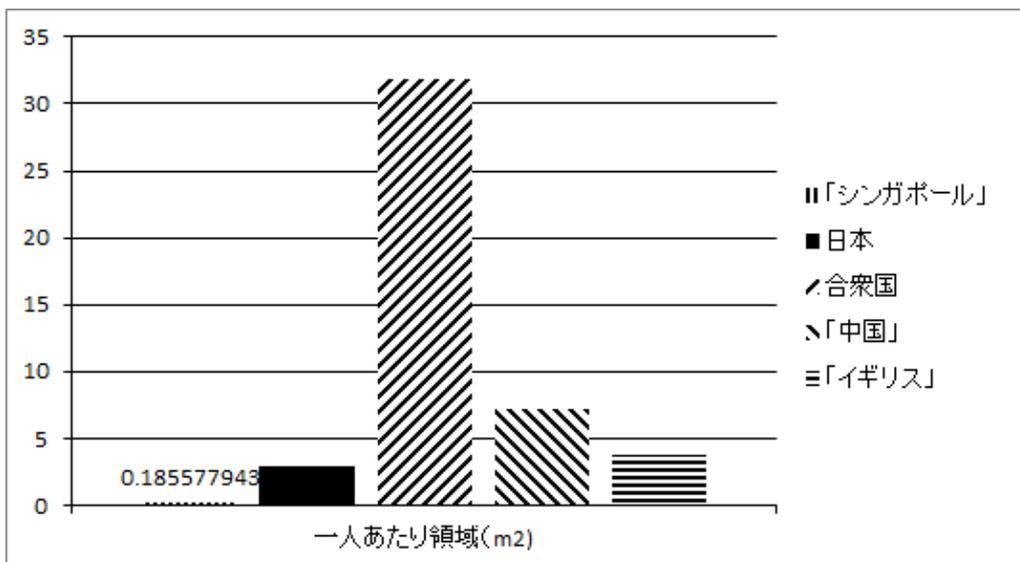
11. 「中国」は農業をやめたか2

2017/12/18 04:25



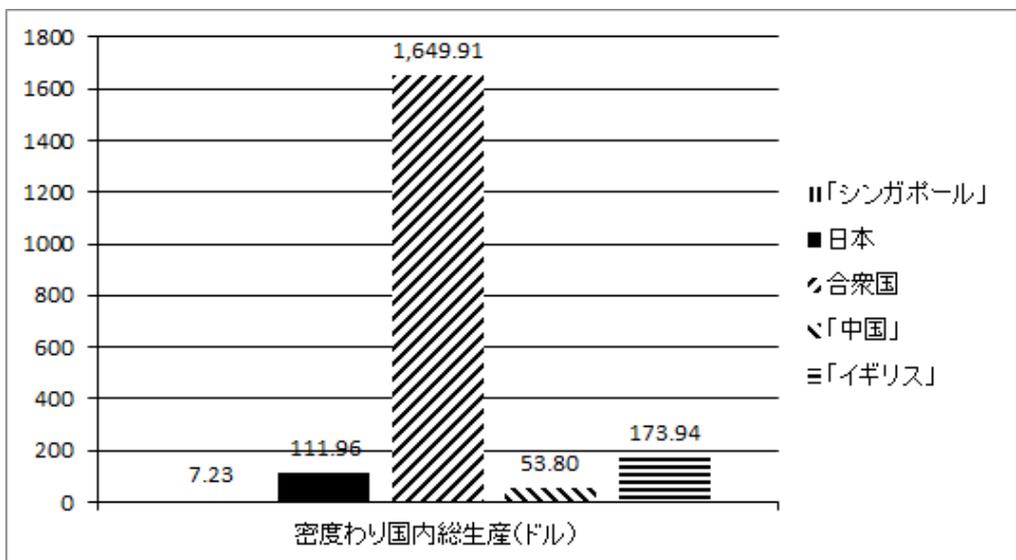
前回に「中国」は農業を縮小させていることを指摘しました。それは、上図のデータを読み解いてわかります。1m²（人も含む）での生産額です。概要は、合衆国や「イギリス」などの農業生産国と比べて、1m²あたりの生産額が高いからです。

「シンガポール」や日本は食糧輸入国です。1m²あたりの生産額が高いということは、知的労働や製造業が盛んなことが考えられます。そしてそれに特化しているというのが「シンガポール」です。日本もそれに近い。これに「中国」も近づいてきているわけです。そうすると、農業は縮小していると考えられます。



別のデータもあります。上図は各国の一人あたりの領域（面積/人口で計算）です。合衆国が大きい。つまり農業がしやすいわけです。「中国」も7m²とまあまあです。

しかしながら次の図をみると、これは1kmあたりの一人あたり生産額です。合衆国が最も高いのはわかりません。ちなみに一人あたりなので、人口密度が高い「シンガポール」ですが総計は大きくなりますが、この条件では低くできます。



mgd.png

「イギリス」もやや高いのはかわらずです。日本もそうかわらない。やはり合衆国がもっとも農業生産性が高いのでしょう。「中国」はこの図では低くなっています。つまり、土地があるにもかかわらず、その土地からの収穫を先進国並みに得られていないということです。農地を知的・工業に振り向けたかはわからないが、少なくとも農業生産性が低いと読み取れます。これが続けば、「中国」の待遇による農業人口の低下、食糧自給率の低下、世界規模の飢饉の際には、「中国」は買い負けないとしても、食糧の不足が懸念されます。

総務省統計局 『第67回 日本統計年鑑』

<http://www.stat.go.jp/data/nenkan/67nenkan/zenbun/jp67/top.html> 2017年12月8日
閲覧 を加工して作成

15. タバコ、クルマ

2018/01/25 22:50

「タバコは健康に良くない。」と言う。しかし、「1日1台の自動車に接近すると心臓発作のリスク」とは言わない。私に言わせれば、同じように煙を出しているにも関わら

ずにある。それは多分広告費の問題なんだろう。それだけ自動車業界がお金をだしているから悪く書けない。だから私みたいにどちらからもお金を受け取っていない人間が書く。タバコをやめろというなら、クルマもやめるべきだ。日本ではそこまで覚悟している人がいるだろうか。

17. エンターテインメント困難の時代

2018/04/30 19:54

拙著『よろこぶゲンシジン』で、音楽CDの実勢価格を検討した（拙著『よろこぶゲンシジン』ハチジュウキュウ）。それでは、CDの1枚が210円という計算になった。これが正しければ、CDを洋楽並みの1500円～2500円で売っても競争力はない。

しかしながら、最近の音楽に関する事情を考えると、その価格以下が実勢価格ではないかと考えるに至った。定額での聴き放題サービスが最も低価格かと思う。それでは、1ヶ月で1000円ほどの料金で音楽聴き放題が達成されていないか。計算すると、720時間で1000円、0.72時間（45分程度）で1円の料金となる。つまり、1人、1時間あたり1円の料金で音楽を楽しむことが可能となったのだ。これは音楽だけに限らない。映画やドラマ、アニメ、また雑誌や本もそんなところだろう。

この条件で、エンターテインメント業界で生計を立てようと思えば、せめて年間100万円の収入は必要であろう。これは、年間で100万ダウンロードがなされないと実勢価格（1人、1時間あたり1円）からいって不可能となる。勿論、3000円のCDを330枚売っても良いのだが、どれだけ競争力があると言えるだろう。

つまり、現状では年間100万ダウンロードを上まわれるかが、プロとアマチュアの区切りとなるだろう。年間100万ダウンロードがどれだけ難しいかは、有名な動画投稿サイトのアクセス数を見ればわかるだろう（普通「プロ」と言われる人の作品でも年間100万ダウンロードは難しい）。

これでは楽器を揃えて作品をつくるより、1時間1円で他の人の作品を楽しんだ方が良いかもしれない。特に労働集約的なアニメが難しいだろう。1秒あたり30枚、1分あたり1800枚、1時間半あたり162000枚の画が必要になる。1日30枚書く作家がいたとしても、5400日（約15年）かかる。それだけ苦勞して作っても、1500万ダウンロードされなければうかばれない。

こういうわけだからこの後エンターテインメントに携わる人は減っていくのではないかと思うのである。売れなくても作りたいかということなのである。その分エンターテインメント作品は増えないが、これまでの蓄積があるから、楽しむ人はそう困らないと思われる。

それでも作りたいかというのは私の今のところの問いである。

18. タバコとくるまについて

2018/05/01 15:07

私は以前に「タバコと車は同じじゃないか」という報告を書いた(15)。つまり、タバコも煙を出すけど、車も煙を出すということだ。

しかしながら、「タバコ」は政策的にも疎んじられているが、「車」は疎んじられないのはおかしい。おそらく、車をつくることはほぼ国策になっているだろうからそういう不公正が生じるんだろう。正直、あまり「タバコ」をどうこう言うなら、車にも「私の車の運転により50人の人が肺がんにかかるリスクが高まります。」という警告文を貼ってほしいと思う。それが公正というものだろう。

だから、社内でタバコを禁止するという話にも、「車で通勤を禁じる。」という公正な対策がありそうなのである。しかしそれを言う人は少ない。車を所有運転する人が多いのだろう。

また、車を使う人の就職を禁じるという公正な対策もあるだろう。それなら車を減らすか、車をもっと増やして、「歩行者」をなくせとなる。そのどちらもバカバカしいと思う。お互い様だと思うからである。

「あなたの車に乗る権利は保障するが、私のタバコを吸う権利も保障されるべきだ。」ということだ。それが通らないなら闘うしかないかもしれない。私は「車」より「タバコ」の方が好きなのだ。だから、私が余程の金持ちになったら、車に乗る人を雇わないようにしたいと思う。

「あなた、タバコを吸いますね？」と訊かれたら、「おたくは車に乗るでしょう？ お互い様ですな。」と答えればいい。今のところ、車が通れる道路を減らせ(対は喫煙所)とは言いたくないのである。車道と歩道を分ける壁(対は分煙)を作れとも言いたくない。

20. 100%ロンドン・レコーディングから、数%ロンドン・レコーディング入り音楽へ

2018/05/11 03:28

この前「エンターテインメント困難の時代」という文を書いた(17)。

そこでは、1人が1時間あたり1円で、音楽などのエンターテインメントサービスを受けられる。ということを書いた。月額制の音楽聴き放題などがそれである。そうすると、音楽を作る方が大変になってくる。1時間の作品を1ダウンロードされてようやく1円の売り上げになるわけである。だから、年間で少なくとも100万ダウンロードされなければ、とても食べていけない。そういう厳しい状況がみえてきた。

逆に言えば、そのダウンロード(売上げ)予測を基にレコーディングの予算を決められるわけである。100万ダウンロード(1曲単位で言うと10万ダウンロード)が確定的なら最大で100万円の予算をかけてもいいだろう。有名な歌手などは1曲で100万ダウンロードを超えていたりする。それなら10曲入りのアルバムを1000万円かけてレコーディングすることも可能だろう。海外でのレコーディングも可能だ。

しかしそれは少なくなっているだろう。なぜならその予算には歌手1人だけでなく、スタッフの人件費も含まれるからだ。スタッフだってまともに暮らしたいだろう。だから10人を1ヶ月雇えばそれだけで300万円は消えていく。海外に行って帰ってくる

だけでも10人(€20万円)で200万円と滞在費で10人(€1万円)(€20日)で200万円と費用が膨らんでいく。この例だと、あとスタジオのリース費用とその他の費用を含めて300万円で済めば海外レコーディングも可能となる。最近になって海外レコーディングの話を受けないのは、そういう「売上げられる」アーティストが少なくなっている、というよりも、音楽の単価が1人1時間あたり1円になっているから、売上げが落ちているからなのだと思う。

だから、(憧れの)100%ロンドン・レコーディングは無理でも、ギターだけロンドンで録りましたという10%の「ロンドン・レコーディング」いり音楽作品ができるかもしれない。私は20%果汁入りみかんジュースを飲んだ世代なのでそういう感じは「頑張っているな。」という気がする。実際にそういう作品が出てくるかはわからないが、そういう努力のいる時代と言えるだろう。

アマチュアアーティストも金持ちでなければ、1万ダウンロード(1曲1000ダウンロード)くらいしか聴かれていないなら、録音の予算は1万円にした方が賢いかもしれない。そう言ったってスタジオを6時間使っただけで予算はとんでいく。ドラムを録るときだけスタジオを使えばいい(生ドラムを使わない選択もある。)あとは宅録だ。そうすれば、財務はまあ健全に、長続きするのではないだろうか。そうやって予算に合わせて録音コストをおさえたのがヒップホップではなかったか。その精神は大事だと思う。

21. 日本人は合衆国人の豊かさに追いつけるのか。1

2018/05/22 18:30

戦後、(アメリカ)合衆国の豊かさを、テレビなどを通じて見ることで、その豊かさに憧れた日本人がいたという。そんな中から合衆国製品を買い求める人も増えただろうし、類似製品(例えばテレビ、オーディオなどの家電、バイク、自動車など)を買い求める人もいただろう。私もギターを弾くので、合衆国製の機材を使っている(日本メーカーのものはほぼ駆逐されてしまった。)

では、合衆国はどれだけ豊かなのだろうか。1人あたりGDPではそんなに変わらない。だからといって合衆国が豊かでなくはない。1人あたりの個人資産をみると、日本人が1369.54万円(1[2015], 2[2015])、合衆国人が2757.61万円(*2[2010])である。およそ倍の個人資産である。やはり日本の倍は豊かである。

日本人がそれに追いつくのであろうか。日本の貿易黒字は2016年で、3兆7940億円である。合衆国は、同じく2016年で、79兆6320億円の赤字である。それを1人あたりにして計算すると、29851.7円貿易によって日本人は豊かになったことになる。一方、合衆国人は、257920.8円貧しくなっている。これが続くと2042年の時点で個人資産が2065万9262円と日本人の個人資産が増え、合衆国人は2061万2198円と減り、両者は逆転する。そこまで追いついているというところだが、別の問題もある。それは金融の問題である。

- 1 金融庁「家計金融資産の現状分析」<https://www.fsa.go.jp/singi/kakei/siry-ou/20170203/03.pdf>

*2 総務省統計局「世界の統計 2018」<http://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>

2.2. 日本人は何のために働いているか。

2018/05/18 12:37

昨年の日本の貿易収支は4兆5818億円とまずまず好調である。貿易収支が4兆円ほど黒字だったということは、日本人1人あたり40000円ほど黒字になったということだ。それでも40000円だから、欧州製のジャケットを買ったらそれで終わってしまう。しかし、それだけ豊かになったということだ。

「日本は加工貿易で成り立っている国だ。」と中学生の時に教わったが、現状では、その程度の黒字に過ぎない。特に、原油価格が上がると、貿易赤字が出る傾向にある。原油価格が上がって貿易赤字が出るということはどういうことか。原油を使って企業は生産活動をするが、その企業の生産活動で得るお金よりも、輸入する額の方が大きいということである。

日本のエネルギー消費量は12428ペタジュール（*1 2014年、以下同じ）であるが、産業用が3713ペタジュール、運輸用2989ペタジュール、その他が4199ペタジュール、非エネルギー利用が1527ペタジュールとなっている。「その他」とは主に家庭用であろう。通販が盛んな時代だから、運輸用の2/3程度を家庭用を含めると、およそ消費量の半分が家庭用となる。その他の半分が大きな意味での産業用だろう。つまり、6000ペタジュール程度が家庭用で、6000ペタジュールほどが産業用ということだ。産業用のこれらエネルギーと原料が輸出する製品を作り出している。そして、去年ならば貿易収支の4兆円ほどの黒字を稼ぎ出している。

しかし、原油価格が上昇し、貿易黒字が0円以下になったらどうか。産業用のエネルギーと原料と労働力を使い、製品を輸出することで、家庭用のエネルギーを輸入することになる。つまりどういうことか。仕事を頑張った結果、家庭で電気を使えるようになるという成果が上がることになる。もっと極端に言えば、日本人は冷房の効いた部屋でテレビなりインターネットを楽しむために働いていることになる。それでは悲しすぎないか。

ちなみに、(アメリカ)合衆国人は外国製品を買うために働いている(貿易赤字)。中国人は豊かになるために働いている(貿易黒字)。日本人の1人あたりエネルギー消費量は、98ギガジュール(*2 2014年以下同じ)で、55ギガジュールの中国人のおよそ2倍である。だから、モノをたくさん所有したいと働く目標を置くのならば、貿易赤字をお構いなくモノを購入すればいいだろうが、豊かになりたいと目標を置くのならば、エネルギーの利用を半分程度にまで減らせばよいとなる。もし、冷房が効いた部屋でテレビやインターネットを楽しみたいだったら、今のままのやり方でもいいだろう。今年は原油高である。あなたはどれを選ぶか。

- 1、*2 出典：総務省統計局「世界の統計 2018」
(<http://www.stat.go.jp/data/sekai/0116.html>)

23. 日本人は合衆国人の豊かさに追いつけるのか。2

2018/05/23 15:55

今回は貿易収支について書いた(22)。

貿易による収支はいわゆる実物の動きである。しかしながら、実物の動きを伴わない金融もある。

日本はバブル景気を経て低金利政策をとるようになった。1995年から2015年までの20年間の日本人の個人資産の伸びは1.47倍(*1)である。だいたい年率2%で運用するとこういう数字になる。貿易収支は1人あたり5万円程度の黒字で、個人資産に占める割合は0.28%程度である。それなら貿易より金融で運用した方が良いかもしれない。しかしそうなのか。

ちなみに(アメリカ)合衆国の個人資産の伸びは、同20年で3.11倍である。年率6.5%程度で運用すればそうなる。つまり、貿易では日本人が合衆国人を追い上げているが、一方金融では差がひらく一方である。こういうわけだからか日本でも投資の話が多くなったように思う。数字で言えば、金融面をなんとかしないと差がひらく一方だからである。

しかし、実際に合衆国人が豊かになったかという問題がある。それはどういうことか。合衆国には国境がある。つまり、貿易で黒字をださない限り、合衆国人は実際に豊かにならないという考え方ができるのである。国内経済という限定があるためだ。貿易黒字をだせば国内経済が豊かになる。しかし、貿易赤字をだせばまずくなるわけだ。何が言いたいかという、合衆国人の資産が増えたのは主に、国内経済の問題ということだ。合衆国で貿易赤字がでているのなら、合衆国の国内経済は貧しくなる。しかし、個人資産が増えている。それが主にどこから出ているかという、国内からだろう。単純に言うとお札の印刷機を回せばよいのである。

普通それをやるとインフレになる。20年前から貿易赤字が出ていたとすると、増えた個人資産の分だけインフレになる。だからロジックで言えば300%のインフレのはずである。しかし、それほど暮らしにくくはなっていないだろう。それは、中国製品などの安い輸入品が入っているだろうからである。つまり、安い輸入品が300%のインフレを消化しているわけだ。それでいいじゃないかとする見方もある。

しかし、最近の話を聞くと、貿易赤字を解消しようとしているらしい。だから日本が同じ様に金融面で資産を増やそうというのはあまり感心しない。たしかに通貨が安くなると輸出では不利である。しかし、それをやると安いものを輸入しなければならなくなる。合衆国と同じようにするのはどうかと思うのである。古い産業から消えていくだろう。そんなに新しい産業があるだろうか。別にインフレ付きの個人資産を増やさなくてもと思うわけである。

*1 金融庁「家計金融資産の現状分析」<https://www.fsa.go.jp/singi/kakei/siry-ou/20170203/03.pdf>

26. 「ジブンのジンセイはただしいとはおもっていない。」というブンをショウリャクカノウか。

2018/07/11 12:44

カガクのカセツは、ケンショウされ、そのケツカ、ホウソクとしてひとびとにニンシキされたりする。たとえば、みかんがチキユウにひっぱられ、みかんがジメンにおちるというジショウであれば、みかんをひっぱるジュウリョクのようなものがソンザイするというカセツがたてられ、それをケンショウすることでそのカセツがただしいか、ただしくないかをハンテイする。ここでダイジなのは、そのジショウが、ナンカイもサイゲンできるかというテンである。ナンカイもおなじことがハッセイしないのであれば、そのカセツはただしくないとなる。よってホウソクとしてなりたないとなる。

ところで、ニンゲンがいきっていて、「おれのジンセイはバラいろだ。」などという。この「ジンセイ」が「バラいろ」だというのは、ブンガクテキナヒョウゲンで、かならずしも、そのひとの「ジンセイ」が「バラいろ」ということではないだろう。ここで「バラいろ」かどうかをたしかめれば、それがただしいかがわかる。しかし、あまりそれをしらべるひとはいない。なぜか、そもそもだれかの「ジンセイ」があるかがそもそもうたがわしいからだ。フツウにはなしているばあいは、「ジンセイ」は「ある」とされる。だが、カガクテキには、その「ジンセイ」があるのかが、カンサツカノウで、サイゲンができなければならない。だれかの「ジンセイ」がないとはいえないかもしれないが、そのだれかの「ジンセイ」があるともいえない。それはサイゲンができないからである。だから、だれかの「ジンセイ」が「ある」とはカガクテキにはいえないのである。

こうやって、だれかの「ジンセイ」がカガクテキに「ある」とはいえない。「ジンセイ」があることがカガクテキにはただしくないとするば、サービスギョウではたらくひとを「サービスマン」ではなくて「サービスパーソン」といましょうという「ただしいいまわし」なんかどうでもよいことのようにおもえる。そんなことより、「おれのジンセイはそもそもカガクテキにはただしくないんだからね。」となるからだ。

そうやって、ジブンの「ジンセイ」がただしくないのだとすれば、ケンキョにもなれるだろう。「イチたすイチはニというケイサンケツカなんだけど、そもそも『おれのジンセイがただしくないんだからね。』とか、「おれのジンセイはただしくないんだけど、えきからサンビャクメートルのところにそばやがあるよ。」などというかんじだろう。

キリストキョウには「ゲンザイ（つみ）」というのがあるとされるようだが、そういう（かどうかはわからないが）ケンキョさが、キョウユウされるヒツヨウがあるかもしれない。つまり、ジブンのジンセイがただしいとはおもっていないというニンシキだ。そのニンシキがキョウユウされているのであれば、「おれのジンセイはただしくないんだけど」というイチブンは、ショウリャクカノウだろう。しかし、そのニンシキがキョウユ

ウされていないのならば、カクニンするヒツヨウがでてくるかもしれない。メンドウではあるが、あまりにゴウマンなことをいっているひとがいるのならば、「あなたのジンセイはただしいとおもっているのか。」ときいてみるといいだろう。ゲンダイのニホンではシュウキョウがよわいから、ほかのくにのように、「あなたはシンコウがあるのか。」といったといで「ジブンのジンセイがただしいとおもっていない」かをハンダンするのはむずかしいのではないか。

27. ジンセイをきめるみつつのセンタク

2018/07/12 01:10

ニンゲンなどのコタイは、そのコタイにとっていいことをジッコウする。のどがかわいたら、みずをのむなどだ。しかし、そういう「コタイのセンタク」ばかりではない。シゴウキがあかだつたらとまりなさい。といった「シャカイのセンタク」もある。これはさからうと、そのコタイがいきづらくなる。また、いまはイッパンにそうおもわれていないのかもしれないがかんがえるといった「リセイやロンリによるセンタク」がある。これはヒテイしてもいいかもしれないが、それにさからうとソンをするだろう。ニジュウエンとよんジュウエンのものをかってヒャクエンはらって、おつりをもらわないとよんジュウエンソンすることになる。

このみつつのうち、イチバンダイジなのは「コタイのセンタク」だろう。それにさからうとしんでしまいかねない。たまに「メッシホウコウ」というが、「コタイのセンタク」にまでさからってホウコウはしづらいだろう。ショウベンしたいのをガマンしてホウコウしても、もらしてしまってやれタイヘンとなる。それなら「メッシホウコウ」とはなにかというと、「シャカイによるセンタク」か「リセイによるセンタク」にさからってのことだろう。しかし、「シャカイによるセンタク」にさからうと、わるいばあいケイムショいきとなる。そうすると、「リセイによるセンタク」にさからうことなのかとなるが、このばあい、「メッシホウコウ」するひとがソンをする。なるほど、そういうそのひとにとってのソンがあるから「メッシホウコウ」というのか。「ソンぶくみホウコウ」といってもいいかもしれない。

ひとによって、このみつつのうちのどれをジウシするかにはちがいがあろう。しかし、ベツにどれがただしいというセイカイはないであろう。そのひとがいきやすいようにチョウセイするだろうからだ。あまりに「シャカイによるセンタク」をジウシすればカテキオウで、いきづらいつかになるだろうし、あまりに「リセイによるセンタク」をジウシすれば、うきよばなれしているとかいわれる。うまくいきするにはテキドがいいであろう。

28. ニンゲンのイシキとジョウシキ

2018/07/12 07:52

「ニンゲンのセイカツ」は、カガクテキにただしくない(26)。サイゲンセイがないからだ(26)。しかし、ニンゲンのボディはサイゲンセイがある。イデンシによってフクセイさせられるからだ。クローンニンゲンというやつである。だから、ニンゲンの「セイカツ」はただしくなくても、「ボディ」はただしい。また、「セイカツ」といっても、こまかくみた「コウドウ」はサイゲンセイがある。オリンピックセンシュのコンシンのほしりは、やっぱりサイゲンできないだろうが、よくあるすわるだの、はしるはサイゲンできるだろう。だから、シンリガクケンキュウにコウドウシュギというのがある。それでは、キョクタンにいうとひとの「イシキ」をケンキュウしない。サイゲンセイがないからだろう。

ニンゲンの「セイカツ」から「コウドウ」をひくと、タブン「イシキ」になるだろう。そういうわけで、「イシキ」はサイゲンセイがないから、カガクテキにただしくないとなる。そういうイッパンセイのないものをコセイとよぶかもしれない。いや、ホントウは「イシキ」があるとはカガクテキにみとめられないから、カガクテキにただしくないとされる「イシキ」にコセイがあるかもしれない。となる。

ただ、ジョウシキテキには「イシキ」はあるとされているから、いや「ボディ」をみてあるとしているのかもしれない。まあいずれにせよ、ジョウシキテキにみとめられる「イシキ」だから、ジョウシキからはずれる「イシキ」はフツウのひとはみとめづらいかもしれない。そうだから、「イシキ」のコセイはみとめられづらいだろう。

しかし、そもそも「イシキ」ジタイ、カガクテキにはただしくないですからね。とにかく、シャカイテキにみとめられようとおもったら、「イシキ」ではなく「コウドウ」でドリヨクしたホウがいいということである。

29. チョサクのジレンマ

2018/07/12 13:58

ニンゲンの「イシキ」はサイゲンセイがないゆえに、カガクテキにはただしくない。しかし、ジョウシキテキには「イシキ」はみとめられている。しかし、「イシキ」がジョウシキガイにおよぶと、ジョウシキテキにみとめられづらくなる。

だったら、ジョウシキテキなことをかたればいいか。そうすると、だれかがいったことをくりかえしかねないし、そのままねればホウリツテキなモンダイにもなる。そういうチョサクのむずかしさはあるが、これはジレンマであろう。いまのところかくことをつづけたいとおもっている。

30. 「イシキ」はただしくないか

2018/07/12 16:50

ニンゲンの「イシキ」はサイゲンフノウにより、カガクテキにはただしくない。しかしながら、その「カガク」をつくりだしたのは、「イシキ」のいとなみである。「イシキ」

がなければ「カガク」はハッタツしなかつただろう。いまはコンピュータによるカガクがカノウだとおもうが、それをつくりだしたのはやはり「イシキ」である。であるなら、「カガク」より「イシキ」におもきがおかれるだろう。「カガク」がほろんでも、「イシキ」がまたつくりだすかもしれない。すくなくともそのノウリョクはあろう。しかし、「イシキ」がほろんでしまうと、「カガク」では「イシキ」をサイセイできないとおもわれる。だとしたら、「カガク」をしんじるより、「イシキ」をしんじたホウがコウヨウがたかいとおもわれる。いってみれば、「カガク」は「イシキ」のカブガイネンだからだ。

「カガク」はカンサツカノウで、サイゲンセイがなければならぬといわれる。どういうわけか、それがスタンダードになっているカンがある。なるほど、これはポピュラーミュージックのようなものではないか。そのもとに、「イシキ」というクラシックオンガクがある。これもジダイのヨウセイなのかもしれない。「イシキ」もそのコジンでいえば、カンサツカノウ（めでみるではないが）で、サイゲンセイ（キオクがある。）もある。シュカンといわれるだろうがまとをえていけばいい。そのタイドでのぞめば、やはり「カガク」やそれにたものもつくられるだろう。だから、「カガクテキでないからまちがえだ。」とするのはホリユウにしたホウがいいだろう。モチロン、「カガク」ずきは「カガク」をたのしむのもよいのである。

3 1. 「イシキ」のほかになにかがあるか。

2018/07/13 00:32

「イシキ」は「カガク」よりもジョウイである。「イシキ」が「カガク」をつくったからだ。では、「イシキ」はなにがつくったか。「キソテキカンジョウ」とか、「ホンノウ」とか、「おやや、おやにちかいなにかのイシキまたはコウドウ」だろうか。

そうすると、「キソテキカンジョウ」や「ホンノウ」をダイジにしたホウがよいであろうがそれにとまなうコウドウはコジンテキないしはシャカイテキにヨクセイされる。ヤセイジョウタイではまわりがこまるからだ。

もしくはダイをさかのぼって「おや」をダイジにするのもよいだろう。そういうのをおやコウコウというが、サイキンはあまりきかない。そうやってさかのぼっていくと、さるとかタンサイポウセイブツとかセイメイをつくったなにか（セイヨウだとかみだろう。）がでてくる。「イシキ」からさかのぼるとそうなる。

そこまでさかのぼるのがいいのかは、わたしはいまのところわからない。それらも「カセツ」かもしれないので、チュウイがヒツヨウだろう。とりあえずわかるハンイでいいのではとおもう。「イシキ」はわたしは、コジンテキにたしかだとおもうのである。

3 2. カンジョウにカンするカセツ

2018/07/13 01:35

ジンセイをきめるみつつの「センタク」があるとかいた（27）ところで、「カンジョウ」とはなんだろうか。なにかのシゲキによる、シンリテキなハンノウといえるだろうか。いぬにもあるといえるかもしれない。キドアイラクというが、ほかにもタクサンの

カンジョウがいられている。「コタイによるセンタク」で、みずをのもうとしていたときに、「シャカイのセンタク」でいまはそれはよくない。というフクゴウシヨリがなされると、かなしいとかのカンジョウになるだろう。

そうやって、「コタイによるセンタク」と、「シャカイによるセンタク」と「リセイによるセンタク」のみつつがフクゴウテキにシヨリされることで、タクサンのカンジョウができるのではないだろうか。

3.3. 2065年に貧しくならないようにする方法

2018/08/05 21:30

50年後の日本は人口が8000万人ほどになっていると言う。その問題は労働力が減るということである。だから、その対応として、子どもを増やして労働力を確保する、ないしは、外国人労働者を入れるという方法が検討される。だけれども、その両方も実現が難しい。だとしたら、人口が8000万人の前提で考えてみることも重要かと思う。

昨今はサービス業の従事者が増えたと言われる。2017年にはサービス業従事者は4620万人とされる(総務省統計局「労働力調査平成30年6月分」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/index.html>)。一方2002年には4133万人だった。1990年代には製造業従事者が1500万人を超えていたが(総務省統計局「第10回改定日本標準産業分類別就業者」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>)、その後減少し、主にサービス業に吸収されたようだ(総務省統計局「第12・13回改定日本標準産業分類別就業者」<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>)。製造業従事者は2017年で1052万人。

さて、日本の富の源泉は何であろうか。それは、中学校で教わるように、「加工貿易」、すなわち製造業である。今はまあ堅調で、貿易黒字を出している。しかし、原油価格が上がると、たちまち赤字がでかねない。貿易赤字がでるということは、日本が貧しくなったことを意味する。であるから、50年後に労働力が減少するとしても、貧しくなる選択はしない方がいいだろうとなる。それなら、サービス業従事者を減らして、製造業にまわすという選択がありそうだ。

とはいっても、現状より増やしてもそうそう仕事があるわけではない。だから、現状の1000万人規模を維持するという方法だ。2065年の労働力人口が4000万人ほどだから(推計)、その4分の1を確保する。農林漁業や建設業も必要だから、それぞれ200万人(2017年と同程度)、400万人(1970年と同程度)を確保する。そうすると、残りでサービス業の従事者数が算出できる。その数2400万人。現状からいうとおよそ半分の規模になる。

それを基準に考えると、日本人は、過剰なサービス消費を慎まなければならないと言える。サービス業従事者数で言えば、およそ1970年頃のサービスレベルだ。2065年頃の話だが日本人がそれを受け入れられないと、日本人は貧しくなっていく。まだ先の話ではあるが、1970年頃のサービスレベルを参考にしたり、適正なサービスレベルを考えたりして、貧しくならないような準備をすることができよう。

私の家の方では、飲食店が1980年に比べ5つほど増え、コンビニエンスストアが3つ増え、家電量販店が2つ増え、医院が4つ増え、介護施設が2つ増えた（かわりに個人商店が7つ減った）。これらは過剰なサービスと考えるのが2065年に貧しくならないようにするサービスレベルの考え方である。いろいろな地域によって、必要なサービスと過剰なサービスに分けられよう。

34. 小さな贅沢 いい暮らし 2040年

2018/08/05 23:20

2065年に貧しくならないような生活構造を述べた(<https://note.mu/ryusaku/n/n320c85dd7686>)。それでは、現行のサービスレベルの約半分の水準で、もしくは1970年頃の水準でサービスを受ければ良いとした。では、2040年ではどうだろう。2040年の労働力人口は、推計で5400万人（総務省『平成26年版情報白書』<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/nc141210.html>から独自に推計）。2065年に豊かになる暮らしと同様に農業、製造業などに労働力を割り振ると、農林漁業200万人、建設業400万人、製造業1000万人、サービス業3600万人となる。

これでは、サービス業従事者が3600万人だから、1990年頃と同じくらいのサービス供給が可能となる。だから、2040年に貧しくならないようにするには、1990年頃と同じようなサービスレベルか、今より2割ほど削ったサービスレベルを想定するといいたろう。1990年頃だと、私の家の近くにコンビニが1軒あった。家電量販店はなく、自営の電器屋だった。飲食店はそれから3つ増えた。医院も3つ増えた。介護施設も2つ増えた。増える前がちょうどいいのだろう。コンビニも1軒でいいのかもしれない。

36. 身近な国際競争

2018/11/15 12:50

よく行く牛丼屋が2軒ある。片方は外国人が働き、もう片方は日本人の若者が働いている。私がどっちによく行くかといえば、外国人が働いている方だ。何故なら、外国人は無言で働き、日本人の若者はくっちゃべっているからだ。人手不足だからそれでもつとまるんだらう。ここでも国際競争に負ける日本人の姿がある。

日本人の誰かは外国人を排斥しようとするかもしれないが、それは競争に負けるからではないか。というよりすでに負けているんだらう。それを外国人のせいにするのはどうか。外国人を入れた方がまともなような気がするのです。

37. 将来の日本の安定のために

2018/11/25 06:42

日本の経済状況は、モノをつくって輸出して、油を買うというような様態である。今のところはそれでも収入に余裕があるが、油が値上げに転じると、支出の赤字になりかねない。そうすると、日本（人）の資産を削って油を輸入することになる。それは、日本人が豊かになれないどころか、貧しくなるということである。

この問題は今後も継続されるであろう。高齢少子化による労働人口の減少で、輸出のための労働人口が減少することが想定される。また輸出品目の国際競争の激化により、輸出収入減が懸念される。新興国の経済発展が著しいのがその要因の一つだ。

それについての改善策は、日本人の労働者の国際競争力を増すことであろう。それには、教育や育成の改良が必須となろう。具体的な教育目標とはどうなるであろうか。国際的な一流企業の採用水準を超えることがその目標となろう。

残念ながら、日本人の学生でその採用水準を超えるケースは珍しいと思われる。そこで、次のように教育の内容を提案する。達成目標として、中学校の段階で英語の新聞雑誌を読書可能で、高校の段階でコンピュータープログラムを準実用段階でいくつか構成できる。この程度のレベルに教育できれば、国際競争にも耐えられる学生が次のステップへと進み、製品などの輸出に寄与するのではなかろうか。

40. どうも、闇と思われるについて

2018/12/28 22:07

クラック（ここでは、悪意を持ってパスワードなどのキーを解読されたという意味で使います。）されたソフトウェアをつかまされたようだ。海賊版を含めて今回3度目。1度目は大手のビジネスプログラムの海賊版。これはパッケージが変だったのでインストールせずに処分。2度目はやはりかなり売れ筋のビジネスソフト。これはまあまあのパッケージだったが、純正のものと違うルーチンでインストールが進んだ。これは、利用に必要なキーの入力とライセンス認証を省くように改変されたソフトウェア。3度目も売れ筋のビジネスソフトでどうやら、本物とまったく同じ仕様で、パスワードなどのキーを全て解読して、それをもとにキーをその制作者が発行していると思われるプログラム。これは、本物と同じように動くが、たまに「本物」のプログラムのキーとバッティングして認証できない問題が生ずる（正規のメーカーもキーを発行するし、クラックものの制作者もキーを発行するから起こる。）。

どうもこの3番目のプログラムがここ2、3年で増えているようで、私は音楽用のその手のプログラムを市場で見ると苦々しいと思っていた。かなりの低価格で売っているからわかりやすい。しかし、ビジネスソフトは利用者が多いためか、価格が高め。理屈の上では同価格でも売れるわけです。

こうしたソフトウェアを買って、安く使えてよかったでは、その市場から本物を作るメーカーが逃げ出しかねない。だから、見つけたら廃棄するようにしなければと思うわけです。そういう制作者や売手を排除できれば望ましいですがなかなか難しいのでしょ

うかねえ。個人としては、正規店以外では買わないようにした方がいいでしょう。もはやそこまで進んでいるとみてもよい。

4 1. またタバコか。

2018/12/28 23:25

タバコの箱の警告印刷を現在の30%以上の表示から50%以上にするらしい。それなら車のボディにも同じ割合でペイントしてほしいですな。「私の運転であなたが肺がんにかかる可能性が30%高まります。」とかね。

4 3. 日本（東洋）的教育

2019/01/03 05:42

現在の教育は日本でも西洋的な積み上げを基本としている面がある。これを西洋の教育と呼ぼう。いろいろな科目を積み上げて教える。しかし、日本には元来、師を真似て何かを習得する教育方法があった。これでは、師が何かを教えることもできるが、そうではなく、生徒が自発的に習い、考えて何かを習得するとも言える。つまり、必ずしも教えない教育だ。一方、西洋式の教育は教える教育である。

この日本（東洋）的な教えない教育は現在の学校教育ではあまり採られることは少ない。文部科学省が教える内容を決めているからだ。しかしこうした教育も有効なのではないかと思われる。観察から発見をするというのは科学の基礎でもある。誰かが見つけた説をただ教えるより、よっぽど考えるだろう。

しかし、それが軽視されるのも無茶はないと思う。何故なら、日本的な教育では、バラバラの発見を文にする程度だろうが、西洋的教育では、細かい積み上げがあるため、その知を利用して役に立つ製品を作れる。極論すれば、世界をもう一つ作れるのである（それが最も正確な説の証明であろう。）。そういう訳で、ものづくりに励むため、日本人も西洋的教育を導入した。

しかしながら、研究を進めるためには、やはり日本（東洋）的教育であろう。何も教えない教育があることを忘れてはいけない。

4 4. シャカイガク 0 0 1

2019/01/08 09:11

そこらを歩いていると、車がよく目につく。ある観点から言うと、それだけ金持ちが多い。そんなに金持ちがいるのか。となる。

日本の輸出入の統計からいうと、せいぜい20兆円の黒字（それでもすごい。）だから、その業界に勤める従業員は買えてもおかしくない（車は自然物ではないので、鉄鉱石を輸入する必要がある。つまり原料は輸入だ。）。20兆円を給料として配分すると、年収

333万円の外貨を持つ従業員が600万人いることになる。車の値段が300万円としても、その人たちは、車を買えるだろう（10年ローンでもいい）。だとすると、労働人口の10分の1程度が車を買えることになる。つまり、つまり、10人に1人、人口でいくと20人に1人となる。だから、その計算で考えると、車はそんなに走っていないはずなのだ。金持ちが多いという実感もそこそこのを得ているだろう。

しかし、車はたくさん走っている。それは何故なのか。先に述べたように、日本の外貨収入はせいぜい20兆円である。その外貨収入の半分は油、ガスを買うだろう。残りの半分の半分は製造に必要な原料を買うとして、その残りの半分の半分で車を買うとする。5兆円だから、160万台買える。買い替えがあったとしても、戦後60年（やや復興してから。60年～）からそれが続いたとすると、60年で9600万台買ったことになる。それなら、何故かは説明できる。

ところが、この計算だと車以外の輸入品的なものは買っていないことになる。外貨収入の4分の1を車の購入にあてたということだからだ。つまり、戦後復興して輸出できるよう日本人は頑張ったが、国内にあるもの以外は、車しか手に入らなかったことになる（「車が」と言った方が良いかもしれない）。

私がバブルを経験した世代なのでそう言うが、74年間の努力の結果が日本人が車を持ったということになる。別に車でなくとも良かっただろうが、外を歩いてみるとどうもそのようだ。それがいわゆる74年間の日本の経済成長である。

90年代から、輸入品が増え始めたが、それらを買うとなると、車を買うには足りなくなってくる。それをどう考えるか。一つは車を大事に長く使えばいいのである。しかし、税制、規制が懲罰的だから簡単ではない。しかし、修理して使えばいいだろう。そうすれば、他のなにかも買えるかもしれないのである。

46. 東京の設計は失敗かも

2019/01/09 07:38

戦後、東京は立て直され、世界有数の大都市となった。昔からある都市は、せいぜい地下鉄を作り、車と併用して走らせるのが普通だが、東京は、戦争の結果焼けたため、大胆な都市計画が可能となった。それで、私鉄、旧国鉄各社が、東京の中心から放射状に路線を走らせた。結果、郊外に住宅が建ち、鉄道で通勤するようになった。車で通勤可能だがそれで通勤する人は少ないようだ。

しかしながら、戦前は車は金持ちの乗り物だったが、戦後復興を経て、日本人は車を持つようになった。それであるならば、東京へ車通勤することは、経済的に合理的な選択と言えよう。しかしながら、郊外からの幹線道路は狭いし、東京で駐車場を見つけるのは難しい。つまり、東京は車で通勤をする設計にはなっていないのである。もっと言うと、設計者は、車を日本人が持つとは思っていなかったのであろう。

しかしながら、持ってしまったものはしょうがない。設計を手直しの必要があると思われる。車で通った方が安いからだ。それなら駐車場等を作れば良いが、あまり残っている土地はない。湾岸があるが、ウォーターフロントだから人が住みたがる。そのところをどう考えるべきだろうか。

47. 日本人は高齢化を乗り越えられるか。

2019/01/09 12:50

「高齢化」と言われて久しい。この後、「団塊の世代」が高齢化し、本格的な高齢化社会が始まる。現在の日本人の個人金融資産は1800兆円と言われ、政府関連負債が1300兆円と言われる。ここでは、もうすでに徳政令等で政府負債を清算したものととして扱う。差額の500兆円も数えないものとする。

今年度の政府予算が100兆円ほど。これは税収の他に50兆円ほどの赤字国債が発行される。このまま財政改革をしないと、団塊の世代の姿が見えなくなる頃2039年度にはやはり1000兆円の国債残高が残る。これは、日本人に払えるかわからない額だ（国民がタダ働きをすれば払える。200万円分を6000万人が10年働けば1200兆円になる。）。

またその後も高齢化は続く。だから、先に述べたタダ働きをしたくなければ、財政なり、個人の財布引き締めなどが必要であろう。2039年で1000兆円だから、2029年で500兆円。もうすでに500兆円規模の、要するに、200万円分を3000万人が働くタダ働きが始まってもおかしくない。

しかし、他にも方法があると断っておく。

51. サイバー攻撃の被害

2019/05/24 16:46

私のパソコンはこの前ランサムウェアにやられ、回復に4日間かかった。あまりサイバー関連の被害はそんなに多くないのではとみられる向きもあろう。しかし、計算してみると、結構な金額になる。

私の被害の例でいくと、4日間の人件費（何もなければ普通に仕事をした。）40000円。ハードウェアの被害10000円。計50000円である。これが、日本全国で起こると、かける1億2000万なので、6兆円になる。これは、単発の数字なので、連続した場合はもっと被害が大きくなる。

6兆円という被害は小さな軍事的衝突よりも大きいだろう。航空機が300機買える金額だ。それなら、サイバー攻撃も、軍事的攻撃のように備えなければならないと思うのである。

53. なりすましメール

2019/05/26 10:35

なりすましメールが来た。あたかも本物が出したようなメールアドレスで（たぶん本物のメールアドレスだ。規制の少ないサーバーではこういうのを送れる。）。ただ、アマチュアが出したようなので、2箇所の不審で偽物と見破れた。多分海外からだ。

こういうものを輸入してもしょうがない。輸入禁止にすればいいだろう。犯罪を輸出しているわけだから。ブラックリストを作って、国内に入るのをアクセス拒否ができると思う。それが簡単な解決策では。

5 4. 老後の資金

2019/06/04 13:42

老後の資金として2000万円は自己資金があると良いと言う。稼ぎが多い人なら貯金もできるだろうが、今の私にはそれだけの貯金は簡単でない。月に8万円貯金すれば、20年でおおよそ2000万円になる。金融庁が言ったらしいから真面目な話なんだろう。

貯金できなければどうするか。生活費を8万円減らせば良い。上手くいけばそれなりに貯金がたまる。要するに生活レベルをおとせばいいわけだ。バブルを経験した世代なので正直厳しいが、やらなければならないんだろう。そういうわけで雑炊を食べた。

これを1億人がやると、合計で100兆円GDPが減ることになる。それでも老後のためには仕方ないだろう。

6 0. 米中貿易。儲かるからやっているだけ。

2019/07/06 10:45

合衆国が中国と「貿易戦争」をしているという説がある。しかし、これは間違った認識だ。確かに摩擦はあろうが、関税合戦はお互いに利益をもたらす。

合衆国が中国製品に関税をかけると、合衆国政府が儲かり、また、合衆国内での生産が増え、雇用が増える。これは、中国にとっても同じこと。関税合戦をやっていると、以上の4つの利点がある。だから、「貿易戦争」のように見えても、お互いが儲けるという立場でやっているとみた方がいいだろう。

6 1. 報告。再び喪失されました今後20年。

2019/07/06 14:14

「喪失された20年」というようなことを言う。「30年」にしないように頑張っているわけだが、別スレッドで「今後20年」が「喪失された」ことが確定した。それは、政府・日銀の金融緩和である。この額が、日本の経常収支と、その現状維持した場合の将来分を奪ってしまったからだ。つまり、今のままの努力では、日本は、今後20年間全く経済成長しないことになる。ただ、国内総生産やインフレ率などの数字は今まで通りか、上がるだろう。給料も多少上がるかもしれない。しかし、その分インフレになるので、買える量は変わらない。また「喪失」しないように頑張りたいものです。

6 3. 政治家を選ぶのではなく、コンピューター・サーバーを選ぼう。

2019/07/06 16:04

政治家は、「景気が悪い。」というとお金を出したがる。いわゆる「景気対策」である。もうこれは止められないかもしれない。与党が出さないとなると、野党が出しましようと言うだろう。そして政権交代である。緊縮財政をするのが、日本の様な財政赤字の多い国にとってはまともな行動だと思うが、そういう政党はなかなか出てこない。要するに、財布の紐を締めるだ。それができない。

それならば、またお金を放出して経済をインフレの嵐にしてしまう前に、対応策がある。

それは、キャッシュ・レジスターの導入である。よく商店にあるあれだ。それに、国家予算の全額を入れる。とても大型になるだろう。これはどういうことかということ、必要な額しかお金が出てこないということである。その承認を政府や財務省がやってもいいが、それだと問題は解消しない。だから、1つのコンピューター・サーバーを立てて、国民の許可を取るわけである。今は、コンピューター・ネットワークや電話回線など、通信が発展しているので、簡単に国民が答えられる。

国民のメールアドレスなどを登録してもらい（そのサーバーで発行しても良い）、そこから、「電子投票のお願い」などとメールを全国民または、納税者に送り、その予算の執行（例えば、公共工事4000億円とする。）を許可するかどうかを審査してもらうのである。

多数決で予算の執行の可否を決めてもいいだろうが、賛成分の予算執行を可能にして、少なく執行することもできるだろう（賛成40%、反対60%で、1600億円の執行）。

この審査が終わった後に、レジスターにデータを送れば、めでたく予算執行となる。

このやり方（審査）が慣れてくると、法案の公布の可否を国民が審査することもできるだろう。これは、直接民主主義に似ている。通信の技術がそれを可能にするわけだ。

国民も、「明日の午後5時までに投票して下さい。」とメールを受け取るだけだから、割と負担もないだろう。難しい内容なら、そのサーバーにプレゼンテーションを掲載するといいい。

以上が、無駄なお金の放出を減らすための案である。政治家が日銀と組んで何かやるようなら、日銀の決定も審査するようにすればいい。これは、つまるところ、代議員は要らないということである。行政員と最小限の政府機関とコンピューター・サーバーがあればよい。そういう改革も良いかもしれない。

6 4. スーパー敗戦国からの脱却

2019/07/08 12:55

合衆国が「日米安保条約」を再検討しているという。日本政府は火消しに走ったらしいが、これは、かねてからの合衆国の規定路線とも言われる。つまり、東アジア地域か

らの撤退である。

日本人は、「村山談話」で、80年ほど前の戦争について公式に反省した。しかしながら、なにか具体的に行動したという話は聞かない。むしろその後、日本人は右傾化したと言われる。

日本の周辺には大国が多い。もし、日本が独自防衛をすると考えるならば、防衛力と同時に、周辺国と友好を深める外交力が大事である。しかしながら、隣の国とまあうまくやっているようだが、尖閣諸島についての領土問題がある。また、北の国とは、領土返還問題で平和条約を開始するに至っていない。また、北の半島とは、経済制裁という対決ムードであるし、もう一方で戦後処理でもめている。

つまり、これだけ外交がまずいわけである。それでも何とか防衛できているのは、米軍のプレゼンスによる。米軍が日本に駐留するようになったのは、日本が敗戦したからであるが、その後の東西冷戦によって、合衆国側とソ連側が対峙し、その前線である日本に基地が必要だったからである。しかし、その東西冷戦は緩和し、冒頭に述べたように、合衆国は手を引きたがっている。

これまでは、米軍のプレゼンスによるスーパー敗戦国だったが、今後は、米軍のプレゼンスのない、ただの敗戦国になる可能性がある。それなら、敗戦国がどうするべきか、防衛をどうするか、外交をどうするか、そのシナリオを実現可能なかたちで検討する必要がある。米軍のプレゼンスをあてにした傲慢な外交から、早いうちに普通の外交に切り替えるべきであろう。

北の半島と無駄な闘争をしたり、領土問題で譲歩しないというのは聞こえはよいが、日本にとって大事なのは、平和であって、大国のように国益を前面に押し出すことではないと思う。労働生産性では30位程度になってしまっているから（少なくとも未来における経済力の順位である。）、小国として、うまくマネージするようであろう。

65. 大学に行くのが得か

2019/07/13 17:51

私は大学に行くのに苦労した。両親がお金を持ってなかったわけでない。ただ、自分で学費を出しただけだ。通常のアルバイトに加え、休み中には、他でもアルバイトした。それでも、景気が悪かったから苦労した。アルバイトばかりやっていると、宿題ができなかったりする。そんなのを体験したから、自分で稼いで大学に行くのは難しいと分かった。

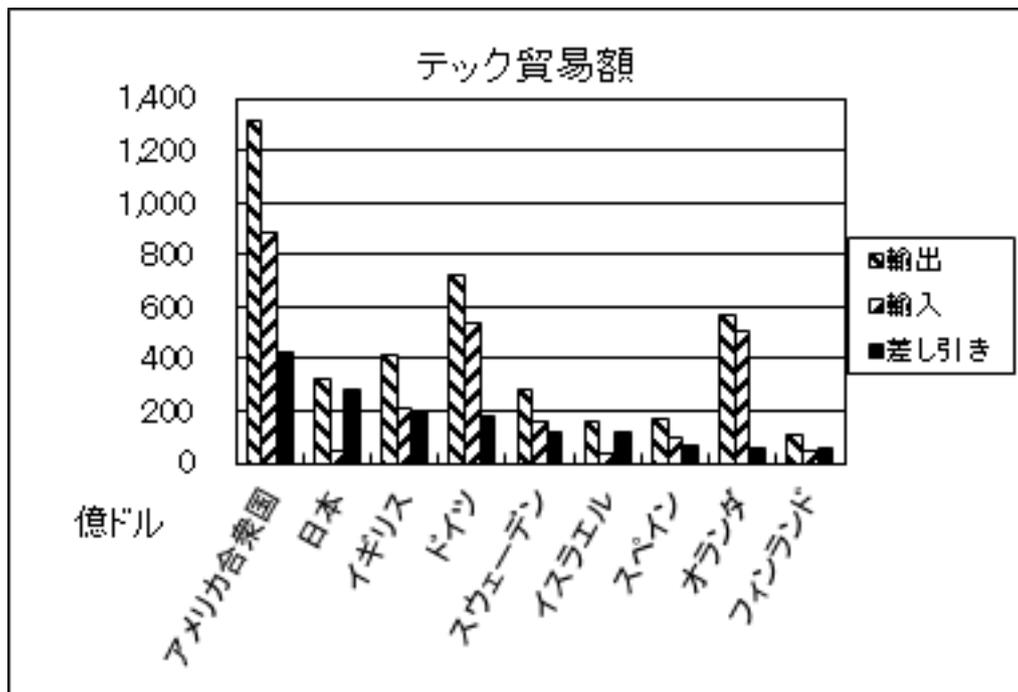
果たして大学に行くのが得だろうか。学費が4年間で400万円かかったとする。400万を学費ではなくて、生活のために使うとしよう。米の値段は5kgで2000円前後だ。1回に100g食べるとしたら、1回40円だ。400万円というのは、10万食に相当する。10万食とは何か。1日3食食べるとしたら、3.3万食。1年は365日だから、およそ100年分である。つまり、400万円というのは、一生分の米を買ってしまう値段だ。

米一生分を出して、大学に行くのが得か。よく考えてみたらどうか。一生分の食料があったとしたら、何だってできるだろう。その自由と引き換えに大学に行くか。

6 6. 改善が上手いのはどの国

2019/07/08

「改善」という言葉がビジネス界で普及し、英語に入る日本語になったとか。その改善ですが、今ではどこの国が上手いのか。



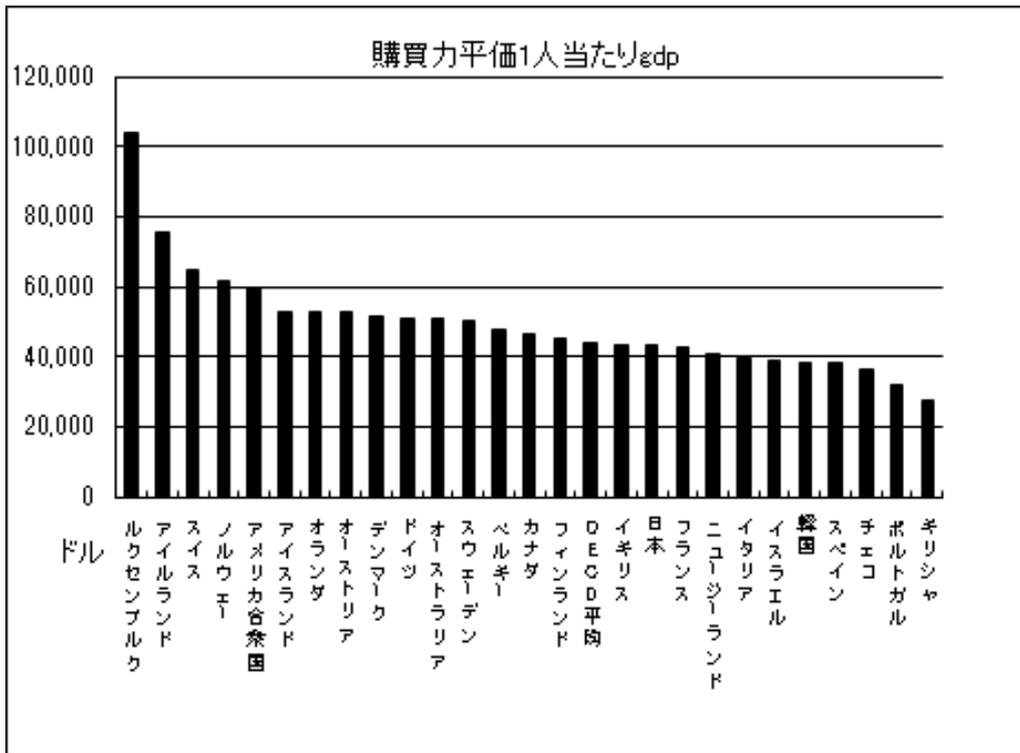
上の図表は、技術の輸出入の統計です（総務省統計局「世界の統計 2019」）。

日本は輸入が少なく、輸出が多い。技術立国という感じです。最も輸出入の差し引きが多いのは、合衆国です。また、合衆国は輸出も輸入も1位です。他に輸出入が多いのは、ドイツ、オランダです。オランダは差し引きが小さいですが、合衆国とドイツは、技術を輸入して、それ以上輸出するという様子が読み取れます。単に輸入した技術を、改善して輸出すると考えれば、合衆国とドイツが改善が上手い国と言えそうです。イギリスもまたそうでしょう。

イギリスの場合は、稼いだ分だけ輸入するようですから、最も経済的な改善が行われているかもしれません。オランダは、積極的にお金を使っていますから、大化けするかもしれません（15年前と比べ3倍の規模）。

6 7. 下駄履きの外交から素足の外交へ

2019/07/10



韓国との摩擦が心配されます。日本では調子の良い韓国企業の事例の他は、あまり韓国経済のことは報道されませんが、実態はどうなのでしょう。上図は、購買力平価で調整した1人あたりGDPです。

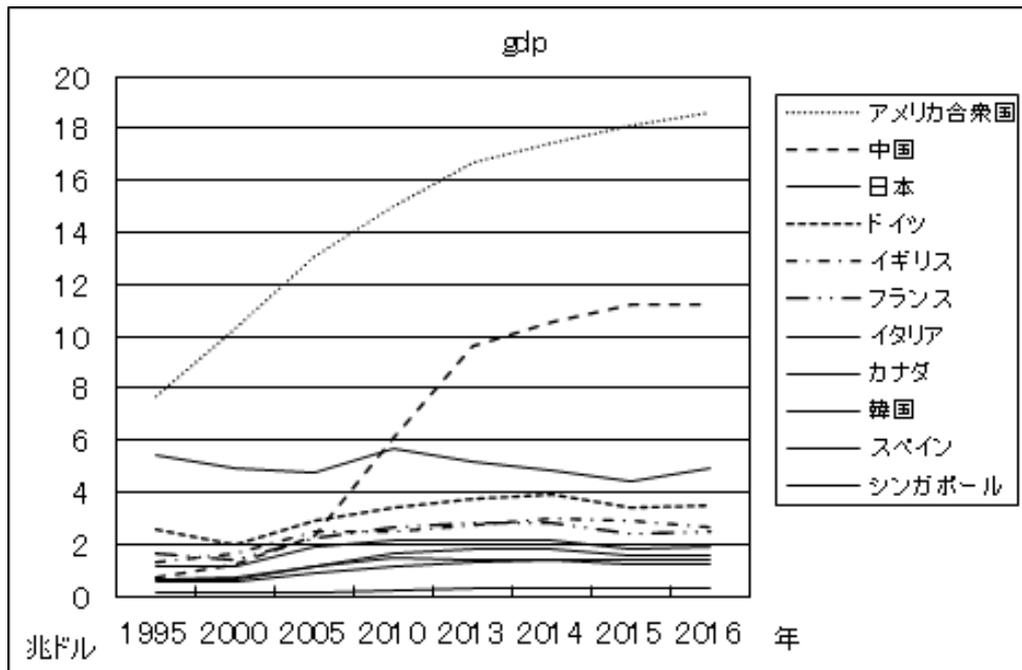
これは、全ての国を網羅したわけではありませんが（産油国などは除いてあります）、ほぼ工業国のなかで日本は18位です。どうも第3位の経済大国というイメージが流布されているため、ピンとこないかもしれませんが、よくある1人あたりGDPでも結果は似たようなものでしょう。なかに「OECD平均」という数字がありますが、これは、実質的な先進国平均です。日本はそのあたりということになります。やはり、ヨーロッパの国が多いです。

韓国も23位になっています。まだ遅れた国というイメージがありますが、もうほぼ日本と並ぶような国です。日本は、この国と摩擦を起こしています。これは、もはや先進国同士の対立です。このデータから言うと、衝突したら、ほぼ同程度のダメージを双方が受けます。それを賢いというのでしょうか。

日本は合衆国のプレゼンスに頼った下駄履き外交をしてきました（64）。つまり、実力より傲慢なわけです。それをそろそろやめて、実際的な素足の外交をしたら良いかと思えます。

引用：総務省統計局「世界の統計 2019」

70. お金を使わせようとする政府、貯金する個人



日本では若い人が車を買わないなどと言われてだいぶ経つ。シェアリング・サービスというのもでてきたし、ファストファッションも選択肢が増えた。要するに、あまり消費しない人が増えたということだ。消費が伸びないと、給料も上がらないし、経済成長もない。ここ最近10年はそんな感じだった。それが統計にも表れている（上図）。

ドル中心の見方だが（各国の経済成長率は、「インフレ率」としてみることができる。）、この図表をみると、これが日本だけの現象ではないことが分かる。合衆国や中国を除いて、主要国はそんな感じだ。特に日本にやや遅れて2013年くらいから、経済の横ばいが続いている。

この頃に何があったか。金融緩和であろう。中央銀行が紙幣を増刷することで、その通貨の価値を弱める手法だ。日本だと、それをすれば、円安が期待される。そうすると、輸出が有利になる。それをやられては、他の国がかなわないので、協調的に金融緩和する。そうやってある意味均衡が保たれた。

しかし、これには欠点がある。それは、物価が上がるという作用だ。これは、すぐに表れるとは限らない。そういう事態が想定されるとどうなるか。政府が個人に消費を促すように求めても、個人は、インフレに備えて、貯金するのである。その行動が常態化したのが今の先進国の経済である。つまり、インフレが収まるまで、経済成長はないかもしれないわけである。

だから、個人が何か製品を選択するときには、他の何かを買わないということになる。新興企業や個人にとっては厳しい社会であろう。

これを追ってか、中国も成長が鈍化している。やはり個人のお金は貯金にまわるだろうか。

ただ合衆国だけが成長を続けている。ただ、政府負債の問題や加熱した景気の中、それが赤字を引き受けるのかという問題がある。もし、あなたが挑戦者なら、合衆国が新興国に行くといいだろう。

72. モノのカカクの考え方 地球温暖化対策として

2019/09/17 10:29

ものとおくにはこぶと、それだけネンリョウがかかる。だから、チキュウオンダンカをボウシするには、ちかくのものをかうといいとかいた（●セッチョ『ひかりがあるところにはジュウリョクがある。』ヒャクゴ、ドウ『ウンドウはすべてエレクトリック。』ヒャクよんジュウニ、ななジュウキュウ）。また、セイヒンに、はこんだキョリなどをかいたり。しかし、キョリではわかりづらいから、ギジテキなキンガクでかいたらどうかとおもう。あるところから、はこんだチーズはサンビャクエンで、ツイカテキヒョウ、（オンダンカタイサクにつかうようなヒョウ。）はニヒャクエーディーズとか。

ニヒャクエーディーズとは、ニヒャクエンブンのユソウコスト（ツイカヒョウブン）である。フツウ、そのコストは、カカクにふくまれるが、いまのところ、オンダンカタイサクヒは、カカクにふくまれていない。だから、このようになる。もし、コクサイカイギで、ゼンカイイチチなら、「ツイカテキヒョウ」をカカクにふくめてもいいだろうが、いまのところ、まとまるケハイはない。だから、こうなる。ゴネドクをふせぐためである。だから、カカクメンでは、ニホンサンのギユウニクはたかいが、エーディーズをふくめれば、キョウソウリョクはあるだろう。

78. 贅沢するのは400万円貯めてからにしる

2019/10/18 20:00

人間が生涯食べていくためには、どのくらいのお金が必要であろうか。米だけを食べてとすると（例えば、1食100グラムとする。）、3食で300グラム、1か月で9キログラム、1年で約100キログラム、80年で8000キログラムである。これを市場価格で買うと、10キログラムで5000円、1000キログラムで50000円、8000キログラムで400000円となる。つまり、400万円あれば、一生食べていけることになる（65）。

しかし、貯金がなければ、いくらその時に働いていたとしても、先はわからない。食べていけなくなる可能性がある。だから、その貯金がないなら、贅沢をしない方がいい。言い換えると、贅沢をするなら、400万円貯めてからにしるというわけだ。その方が手堅い。

79. 現状の働き方では、40年は好景気はやってこない。

2019/10/19 05:16

政府に「景気対策」を求める声があるらしいが、政府・日銀の金融緩和の効果により、現状の働き方では、遅くとも20年後には、推定3倍のインフレにみまわれることが予想される。

だから、私は、日本人は、インフレを打ち消すために、1.4倍の労働（合衆国人並み）をすれば良いと考えるが、現実的には、1.2倍の労働（ドイツ人並み）で、2倍のインフレになるため、貯金が2000万円必要というシナリオに進むとも思われる。

政府の景気対策は、お金を使うものなので、それをすると、誰かの赤字が、政府に付け替えられることになる。政府の財政赤字は深刻なので、もはやできることは少ないと思われる。もう最低20年分は、金融緩和で景気対策してしまったし（1.2倍の労働の線では、40年だ。）その先の未来から借りてくることになる。老いているか、子供がいなければ、30年先、50年先から借りてくることは考えられるが、それはちょっと若い人がかわいそうである。それよりも、インフレになって、個人金融資産がなくなって、外国人に株や不動産を買われ、実質的な植民地になる線が心配される。

そうならないために、個人が努力すべきだと思う。もう日本には「好景気」という資源はないのである。よく働いて、よく貯金する。昭和の生き方だがそれが良いと思うのである。

80. 石高の経済学

2019/10/19 11:16

米は、市場価格で1キロ500円位である。1合（180g）が90円、1升が900円、1斗が9000円、1石が9万円となる。昔、日本では、経済力を米で測っていた。石高というやつである。100万石というと、かなりの経済力である。

今のサラリーマンがいくらもらうかという、年収400万円位が平均であろう。900万円という人もそれなりにいるだろう。それを石高で言うと、100石である。それだけもらえるのは、そこそこの侍だろう。サラリーマンの平均が400万円と言った。彼らは40石ぐらいだろうか。それが4000万人以上いる。40石（4000万人は、16億石である。果たして、これだけ米を生産しているだろうか。多分、国内では無理だ。せいぜい昔でも合計して1000万石位ではないか。要するに、侍に払い過ぎなわけである。生産力の160倍の給料を支払っている。これは完全な国内経済の失敗である。この状態で、皆がお金をモノに換えたら、160倍のインフレが起こることになる。そういうわけだから、まっとうな経済を目指すには、賃金を160分の1にしなければならない。年収480万円の人だったら、年収3万円だ。この額で生活するのは大変だろうが、米で支払ってもらえば、そこそこ生活できるだろう（1食100グラムで、1年で100キログラム、5斗位である。5（9000円で赤字がでるが、まあ調整してである。言ってしまうと、普通のサラリーマンでは、普通の経済下では食えないということだ。だが、情けもあるだろう。).

まあ、3斗の侍では生活はしづらいであろう。農業をもっとやった方がいいのかもしれない。まあ、日本人が増え過ぎたのだろう。江戸時代で人口3000万人と言う。その位

になれば、給料が4倍に、つまり一石二斗になるだろうから、余裕もできるだろう。人口を増やせと言うが、減らした方が、日本人は暮らしやすいだろう。

8 1. 日本経済がまわるわけ

2019/10/19 17:07

先に、米を基本にした経済の話をした(80)。これだと、日本のコメの生産量1000万石(市場価格で9000億円)に対して、平均的な労働者が年収400万円で、米の量で示すと、40石(1石、9万円)となる。こういった労働者が6000万人はいるから、40石(6000万人で24億石必要になる。つまり、生産量と給料の比が1:240であるわけだ。これでは、皆がお金をモノに替え始めたらインフレが起こる。その比が1:1だったら安心だ。

そうするためには、労働者の給料を240分の1にする必要がある。そうすると年収480万円の人で2万円となる。1食米を100グラム食べるとすると、1年で100キログラム、市場価格で5万円である。給料が2万円だから、これでは食べていけない。なぜ、こうした数字があっても日本人は食べていけるのか。それは、貿易がうまくいっているからである(鎖国をしたら飢え死にが続発する。)

貿易(投資を含む)では、年間20兆円を稼ぐ。つまり、米の生産量の20倍である。だから、先のように経済を安定させても、給料が米の生産分からは、2万円のところ、貿易の収入をたして42万円となる。だから、今の日本人は食うのには困らない。ただ、家を買うとかなると、40年間の給料の総計が1680万円だから、難しいとなる。賃貸住宅でも月2万円位に取めないと厳しいだろう。これが日本の実情である。

国内生産が1000万石、貿易で2億石。収入と給料の比が、1:12。最悪、12倍のインフレが起こる可能性があるということだ(別の例えでは、100円のを1200円で売っているのが今の経済ということになる。)

8 2. 地球温暖化の軽減策

2019/10/26 16:55

地球温暖化が言われ始めてしばらく経つ。シーオーツーが原因とされたりするが、私は、燃料を「燃やす」ことが原因だと考えている(何かを燃やせば熱くなることは、ご存じの通りである。)。それなら、燃やすことを減らすにはどうしたら良いか。冬は暖かい方がいい。どうせ暖をとる。しかし、夏は涼しい方がいい。電気を使ってでも冷やそうだろう。

それなら、冬に燃料を使って発電し、夏にその電気を使えば良い。そんなに充電できるかであるが、北半球と南半球の季節の差を利用すれば可能だ。つまり、北南に電線を引くわけである。そうすれば、温暖化は、多少軽減されると思う。

84. 社会のいくさき

2019/11/06 17:02

ヨテイがタッセイされるには、つかえるシゲンがおおいホウがよい。ということは、かねもちほど、ヨテイがタッセイされやすいということである。ということは、かねもちがいいヨテイをのべないと、ほかのひとがメイワクすることになる。ようするに、かねもちは、いいリソウをもたなければならない。いいリソウをもっていれば、いいヨテイをたてるだろうからだ。

かねもちになっても、さらにおかねをかせぐがモクヒョウでは、ほかがメイワクする。ガッシュウコクの一ひとが、チュウゴクジンにいろいろのには、そういうリュウがあるとおもう。つまり、どういうリソウなんだと。チュウゴクジンが、かねをもちはじめたからである。かつては、ニホンジンもたたかれた。あまりいいリソウがなかったかもしれない。チュウゴクジンもやはり、いいリソウがなければ、たとえば、ハケンをきそろうのように。やはり、たたかれるであろう。そういうイミで、チュウゴクジンが、なにをリソウにするかは、チュウイするヒツヨウがあろう。

87. グローバル人材とは。

2019/11/23 19:07

わたしがカイガイにいたころ、ガッシュウコクジンのガッコウとよくレンシュウジアイをした。サッカーだから、あまり、ガッシュウコクジンは、ちからをいれていなかったかもしれない。それでも、かったり、まけたりした。わたしはごついフォワードだった。ガッシュウコクジンにもまけていなかったし、ほかのニホンジンもまあまあいいショウブだった。

タイカクのいいホウがかつというわけではないが、そういうメンもある。ラグビーなんかではそれがケンチョだろう。スクラムでまけるからだ。そうやってシアイしたケイケンがあるから、しごとでもまけないというジンがある。ガクセイジダイにそうそうまけなかったからだ。

ニホンでは、チームワークというかもしれないが、すくなくともそのなかに、ガイジンとゴカクイジョウにたたかえるひとがいなければならない。ガイジンにかつたケイケンがないと、ファンになるだろうからだ。サッカーでも、ダイヒョウは、ほとんどカイガイぐみだ。ガイジンといつもせっているから、それなりにたたかえる。いまのわかいサラリーマンは、カイガイにいくのをいやがるらしいが、それで、ガイジンとせらなきヤジシンがつかない。ほかのひとがいけばいいというかもしれないが、ガイジンとせるチャンスである。

ラグビーみたいなキョウギは、スクラムでまけたら、もうどうにもならないだろう。だから、ガイジンとせりあうことのできるジンザイはいくらでもヒツヨウだ。キョウギでも、ガクシュウでも、しごとでも、そういうキガイをもってほしいとおもう。カンコク

ジンやチュウゴクジンにもまけはじめているからだ。

88. 合衆国と中国の覇権争いから合衆国が降りたらどうなるか。

2019/12/21 13:46

合衆国と中国が覇権をめぐる争っているとする説がある。貿易をめぐる、合衆国発の製品をめぐる、両者はやりあっているとも言える。中国のGDPは、合衆国のGDPに迫っている。要するに経済規模にそれほど差がなくなっている。今後この差はどうなるかという、差はなくなり、やがて中国が最も大きな経済国になるだろうと思われる。なぜなら、合衆国の労働力人口が2億人だとしたら、中国は8億人いるであろうからだ。GDPとは、労働の結果である。労働力が大きい方が大きくなる。つまり、合衆国が現状を維持しようと思えば、合衆国人が4倍働かなければならなくなる。単に、時間労働で測るとしたら、1日時32間労働が必要になる。これは無理である。

今、エーアイやコンピューター関連技術で両者は競っているが、上のような前提があるために、経済競争としては、中国が有利である。これは何を意味するか。日本などが合衆国に追随したとしても、合衆国が競争を降りる可能性があるということだ。4倍の相手にいつまでも競えるわけではない。合衆国が、「世界の警察官」を降りる可能性があるということだ。合衆国は仮に経済力で中国に負けたとしても、自立した経済の維持が可能だ。

しかし、日本は違う。エネルギー資源を輸入し、農産物を輸入しなければ、経済運営は今のところ困難だ。さらに、合衆国に追随した政策をとった場合、中国との関係が悪化する。その分防衛コストが上がるわけだから、これは避けた方が良いように思う。また、合衆国に頼らない防衛も考えておく必要があるだろう。

89. 人口を増やせは正しいか

2020/01/02 16:34

少子化と言われている。これに対して、それで良いんだという人は少ない。何故か人口を増やせと大抵の人が言う。私は前者の立場だ。何故、人口を増やした方が良いのか。これは、多分、その増えた人口が働き手になるという前提があるからだろう。確かに働き手になるなら、それでも良いかもしれない。

しかし、私はそれに懐疑的だ。なぜなら、いまの日本で本当の意味で働き手になっているのは、全労働者の1割だからだ。あとの9割は商人だ。その1割が稼いでいるからこそ、あとの9割が食べられるし、暖まれる。その1割が弱ってしまうと、7割の日本人が飢え死に、暖もとれなくなる。

だから、その1割に入る子どもはぜひ多くなった方が良いが、残りの9割になる子どもはいらない。そういう事情がある。生物学では、生物が生き残る様を、自然淘汰で説明する。ようするに、優秀な個体だけが生き残るとする。だから、この説で言えば、日

本人の少子化は、個体が優秀でないからとも言える。優秀な個体だけを残そうとするのは、タブーだからこれ以上言わない。

江戸時代は、人口が3000万人くらいだったと言う。今の方が経済が良くなっているように思えるが、今は食糧自給率が40%だから、4800万人しか養えない。エネルギーは、江戸時代でも足りなかったそうだから、すぐに暖が取れなくなるだろう（はげ山ばかりになる）。早い話が、江戸時代の方がまともだったわけだ。こういった議論をしないで単純に人口を増やせというのはいかがかと思う。

社会主義体制ならみな平等だろうが全員が貧乏だ。失敗の事例もある。だから、親が責任をとれる程度にすれば良いと思うのである。

90. 車が6台もらえてたかもしれない話

2020/01/03 18:42

建設バブルが起こった。これは80年代後半から90年代前半の話。その処理に200兆円つかったと言う。それから、90年代後半から00年代前半にかけて、内需を増やすという理由で道路をたくさん作った。これで400兆円つかったと言う。それから、10年代前半から、後半にかけて、物価を上げるという理由から、500兆円の札の増刷を行ったと言う。合わせて1100兆円なり。

1人当たり、1100万円つかったわけだから、車が1台180万円とすると、6台買えることになる。バブル崩壊による不動産の値下がりやを補填するために、お金をつかうより、道路にお金をつかうより、物価高にお金をつかうより、6台の車の配給があった方がどれほど有り難かったろう。その費用が、国の借金になっている。それは、受け取った方が請求書を処理していないからであろう。いや、請求書を出し忘れたのかもしれない。それなら、その6台分はプレゼントというわけだ。

しかし、私は、6台どころか、1台も受け取っていない。ただ、勿論請求書も受け取っていない。その6台はどこに消えてしまったのか（正しくは先述の通りだ。）。多分、政府と庶民の間に入った業者が抜いてしまったのだろう。1台も届かないわけだから、かなりすごい業者だ。何社もあったのかもしれない。そうやって、中抜きされる支給より、直接届けてほしいものである。請求書が同時に届くなら、いや結構であるが。同じような話を北の国のこととして聞いたことがある。

91. 小遣いは2万円でいけ

2020/01/04 19:19

日本の輸出入統計では、もはや輸出入がほぼ均衡。海外に進出したメーカーなどが、海外での収益を持って帰って、収支が約20兆円の黒字となっている。

20兆円と言えば、1人当たり20万円である。とりあえず、貿易で食料とエネルギーを買って、ほぼチャラ。要するに家計で言えば、メシと暖はとれる。しかし、海外製の何

かを買えば、家は貧しくなる。かわりに円が出ていくからだ。収入は年に20万円。ということは、1か月あたり2万円だ。あとは、家族との交換で金や労働力がやりとりされるに過ぎない。

こんな状況だから、小遣いは2万円で収めるべきだ。そうでないと、家が貧しくなる(資産を切り崩す)ということだからだ。サラリーマンの小遣いの平均は3万円と聞いたことがある。しかし、収支は、平均で2万円だから、2万円で収めた方が良いと思う。

92. webにつながった製品とサイバー植民地戦争

2020/02/03 01:15

webにつながった製品というのがよく言われる。それがこれからの製品のように。しかし、それで良いのだろうか。一昨日、私のpcがマルウェアにやられて動かしくなくなった。それで、2日間かけて、ソフトウェアを救出した。登録したり、登録を解除しないともう一度使えないというものだからだ。救出は幸い成功したが、pcが動かしづらいのは変わらない。ウィルス対策ソフトは入っていたが、防がないどころか、このマルウェアの場合かえって邪魔になる。それをアンインストールしてから、救出した。この後どうするかと言えば、pcを廃棄するようだろう。駆除する方法もあるだろうが、そんなに簡単とは思えない。要するにこのpcは使えないものになるわけだ。

もし、webにつながった製品を使っていて、同じようにマルウェアをしかけられたらどうなるか。制御系にもコンピューターの技術が使われていたら、異常に冷たくする冷蔵庫や(多分、「冷蔵」しないようになった方が被害は大きいだろうが)、異常に暑くなるエアコンということになりかねない。それを防ぐには、情報系(webにつながり部分)をセパレートにすればいいだろう。そうしないと、簡単に部品交換で修理できないからだ。個人ではなおし辛いだろう。要するに、設計的には、家電と別にパソコンがあれば良いということになる。そうしないと、悪意がある何かがある場合は危険だからだ。それなら、家電とpcを別に持てばいいともなる。pcだったらいくらでも売っている。

私は、webにつながる製品を提案することは、サイバー界隈に強い人を利するものだと思う。もっと言えば、サイバー技術に強い国なんかが繁栄するだろう。ということかという、サイバー世界の植民地戦争である。サイバー技術があるところが、その製品を(冷蔵庫の本質までは支配できないだろうが)支配することになる。そういう戦争に参加したいのかというのが、これからそういう製品を作る人への問いだろう。勝てると思うならやってみるのも手だろう。しかし、日本人や企業は、pcの生産や保守に弱くなってきている。要するに、負けるだろうという話だ。それなら遠目からその戦争を見ていた方が良いと思う。

2日間マルウェアと戦って疲れた。ネットワーク化して、労力を減らす手もあるだろうが、pc1台に、労働力が1人、極論すれば必要になる。それで守っても、売り上げが上がるわけでもない。ただ働きするようだ。そんなリスクを増やしていいとは思わない。ただ、それに参加する、参加しないは、個人の自由である。勝てそうなのは、合衆国人か中国人であろう。いずれにせよ、自分の家に外国の植民地ができるというのは面白くない。

9 3. 私が考えるサイバー防衛

2020/02/14 04:38

パソコンやっているといろいろありますね。正直言うと、私の力量ではパソコンを保守、維持できないと感じつつあります。この前、マルウェアにやられました。どうもバックグラウンドでいろいろ外部とやり取りしているらしい。もっと大きな団体のサイバー班が私くらいの力量だと、もう個人情報どころか、事故につながりかねない（電車が勝手に暴走したりというようなです）。だから、自動運転車も危ないと思う。

それならそれで、インターネットから離脱して、国内だけのネットワークにすればいいと思う。海外とやり取りしたい人は、許可制にしたらいい。私は海外のウェブサイトは見ないから、それでいいと思う。それで何か問題が起こるとしたら、日本国内で何か悪いことやっているか、「出島」経由でしょう。国内だったら警察権が及ぶので、普通に取り締まれる。問題は出島ですが、それも、一時的に遮断したり、許可した人に事情を訊くこともできるでしょう。その方が財産も守れると思うのです。

9 4. MMTが通用する国、しない国

2020/02/23 20:18

MMT（現在貨幣理論）が話題になったりする。その一番の過激な主張は、政府がいくらでも借金しても市場に影響がないということだ。これは、この言葉をそのまま解釈すると、そんなことはないと言わざるを得ない。だから、MMTはインチキだとなる。では、市場が混乱しないで、政府が借金できるのはいくらまでだろう。単純に言うと、返済できそうな程度だろう。しかし、もっと言うと、担保がある限りとなる。ただ、政府がそんなに資産を持っているとはあまり聞かない。しかし、代わりに誰かが払う予定になっていれば、その人の信用の範囲までは借りられるだろう。

日本政府は、既に1300兆円程度借金がある。これが問題にならないのは、日本人全体の金融資産が2000兆円程度あるからである。つまり、それで信用を保証している。だから、2000兆円程度までは政府は借りられる。この事例から言うと、のいくらMMTでも借りられるは間違いである。しかし、いつまでも、政府負債より、民間金融資産の方が大きかったらどうだである。つまり、いつまでも、民間金融資産が保証するわけである。この場合は、いくらでも借りられるは正しいとなる。これは可能なのか。残念ながら、日本では、個人金融資産の伸びよりも、政府負債の伸びの方が大きい。つまり、いつか（おそらく10年後から15年後）は、追い抜いてしまうわけだ。だから、この状況が変わらない限り、日本ではいくらでも借りられるにはならない。しかし、欧米では、個人金融資産がこの20年でほぼ2倍になっている。つまり、政府負債より、民間金融資産の伸びの方が大きいから、いくらでも借りられるは正しいとなる。

日本人も金融資産を年率3%で運用できれば（政府負債の伸び、毎年50兆円。民間金融資産の運用益、3%、60兆円）、いくらでも借りられるとなる（正確に言うと追い越

さない程度にだ。)。日本人はそういう運用ができるであろうか。

9 5. 公共投資でいくか、「小さな政府」でいくか

2020/02/24 00:47

経済学に、政府が行う公共投資の考え方がでてきて100年ほどになる。その他の考え方もあるが、最近の日本政府は、この公共投資を行っている。そうすると、市場での需要が強くなり、景気が良くなると思われている。これはあながち間違えではないが、政府がそれをすべきなのかは見解が分かれる。古典的には、市場に任せろだし、現代風だと、政府の役割を小さくしろである。そう見解が分かれるが、現状の日本政府は、公共投資をやめない。

これを続けていくとどうなるか。ご存知の通り、日本政府の財政は赤字である。もし、公共投資のロジックを保ち続けると、現在では正の値の公共投資をしているが（10兆円など）、赤字でどうしようもなくなると、負の値の公共投資（マイナス20兆円など）を行う可能性が出てくる。現実的にそんな馬鹿なことはやらないかもしれないが、ロジックとしてはそうなる。負の値の公共投資は、正の値の公共投資とは逆に、政府にサービスすることになる。簡単な言い方だと、労役であろう。ただでさえ、政府に税金を納めているのに、それに加えて、労役も加わるということだ。

そんなことなら、公共投資はなくてもいいかもしれない。要するに、政府はあまり余計なことはするなである。そうやって、労役をする方向を選ぶか、「小さな政府」の方向を選ぶかは、国民次第である。

9 6. 第2次大戦のおわり

2020/03/03 11:06

1930年代、1940年代には、第2次世界大戦があった（とされる。）。それは、日本の国という視点では、1951年に、サンフランシスコ講和条約によって、「終わった。」とされる。しかし、本当にそれは終わったのだろうか。なにくそと努力していた人もいるのではないか。つまりは、経済戦争の継続である。その努力の結果、個人資産や、GDPは先進国と肩を並べるまでになった。

しかし、その「資源」はどこから得たものであろう。明治、大正期は、欧米の技術を取り入れた。その技術は、無料であろうか。違う。その分、金や銀が欧米に流出した。つまり、交換である。

戦後、その交換はしっかり行われたであろうか。残念ながら金や銀はそんなに残っていないであろう。だから交換は難しい。通貨や株を入手することもできるが、それがどれだけ信用できるだろう。日本人からみたら、通貨はそこそこ安定しているし、株もまた同様である。しかし、外国人が仮にそれを大規模に入手した場合、日本人がそれで何かを提供（労働も含む）したり、会社で働き続けるだろうか。そういうリスクがある。だから、昨今の交換の完了は、欧米人には達成しづらい面がある。要するに、請求書の処理が滞るである。それが、進むと、その他の方法で、取り立てることもなろう。

もし、日本人が、技術の代価を払わないとしたら、それは、戦争である。まだ、第2次大戦が続いていると言っても良いだろう。それを終わらすことができるかが、日本人に問われているであろう。今の日本の装備では、欧米の強国には武力ではかなわない。つまり、それに負けるか、支払いを拒み続けるなら、日本はどこかの属国か、植民地となるであろう。それが戦争である。

98. 信念デフレと実測値リッチ

2020/04/01 20:51

〇〇ノミクスでは、金融緩和が行われたのがその特徴である。これで行われた金融緩和は、単純に円が出回る量を増やした。つまり、札を増やしたのである。これが、500兆円と言われている。それまでに回っていた札が500兆円だとすれば、1000兆円回っているはずだ。これは何を意味するか。円の信用力が一定だとすれば（例えば500兆円）、その紙幣の信用力は1/2になるはずである（つまり、1000兆円で500兆円分の信用力）。つまり、その想定で言うと、500円だったものは、1000円で売られるはずである。

こうやって、政府はインフレを起こそうとした。その目標は2%であったが、厳密に言うと100%のインフレ状態ができる。100万円の貯金が、50万円の価値しかないとなったら、大ショックである。ただその反面、お金を借りている方は、200万円の借金があったら、100万円の支払いで済むことになる。この場合、借りている方が有利であろう。負債を1300兆円抱える政府は、それを狙ったのか（650兆円の支払いで済む）、そういうことをやった。

しかし、普通の人には、同じ1万円を、5000円の価値しかないとはみようとしない（信じようとしない）。お金をいくら払うか、いくらもらうかは、それぞれが決めることである。だから、インフレでないような取引がされるかもしれない。そうやって、人々の信念というフィルターを通すと、100%のインフレが、2%のインフレ程度に収まるんだろう。しかし、インスタントラーメンが17年前と比べて、およそ2倍になっている。そこでのインフレ率は100%である。

このことから、確実にインフレになっていると言えるだろう。要するに、紙幣の数が倍になった、2倍のインフレが起こると、実測値ベースで考える人は、同じものを売るにしても、価格を2倍にする。しかし、あまり人気のないものは、価格を2倍にしても売れないだけだ。つまり、必需品は、価格が2倍か、2倍に近づいているはずなのだ。しかし、信念で、1万円は、以前と同じ1万円の価値があると信じている人は、それは高すぎると思う。彼らに売れないと商品が余ってしまうだろうから、値下げをする。そういう信念デフレが起こっていると考えられる。

しかし、実測値で考えた方が安全である。つまり、100円のを100円で売って、10円利益がでるとしよう。しかし、その10円を使うときに5円の価値しかなかったら、5円損することになるからだ。それなら、200円で売って、110円利益を出した方が儲かるだろう。その利益が55円の価値しなくてもだ。

そういうもっとも人がシビアになるのが株式市場などであろう。今日の終値は、18065.41円である。これは、〇〇ノミクス前（2012年12月10日）と比べて、9584.46円で、ほぼ2倍になっている。何故株価が2倍になったかという、先に説明した通りだ。とりあえず、今日の終値くらいが妥当なのだろうが（ちょっと前までは、高すぎた。）、株価は、業績への期待も含まれるから、今の不況でまだ落ち込むことが考えられる。しかし、やはり、2倍前後で推移するだろう。

今は2倍に近いから、まだ不況とは言えないかもしれない。業績への期待がまだ、通常レベルということだ。しかし、売上げの落ちた企業が株価を下げるだろうから、株価は全体的に下がっていくと思われる。どこまで下がるかが今の不況の度合いだろう。いずれにせよ、実測値で商売した方が安全である。

99. 大学と勤務先のどちらを選ぶか。

2020/04/20 18:28

00年代初頭。私は学生だった。アルバイトで稼いで学費を払っていた。ところが、当時は不景気で、牛丼が290円、ハンバーガーが60円だった。そんな事情は私の勤務先にもやってきた。人件費を減らすためだろう、経営合理化が行われた。単純に言うと、勤務時間を減らしたのだ。これでは学校に行けないと予測した私はその店を辞めて、他で働き始めた。しかし、うまく稼げず、その次の年には退学した。

果たして、その勤め先を辞める選択は正しかったであろうか。普通の（22歳で卒業）新卒でないと、企業への就職は難しい。不景気であればなおさらだ。事実、その後何年かで私は大学を卒業した。しかし、就職はできなかった。つまり、非正規労働者になった。そこから、正規労働者になるのは難しい。

それなら、勤務先を辞めずに、学校をやめれば良かったのではないか。それなら、生活もそれなりに安定するであろう。私にはその選択ができなかったが、若い人には考えてほしい。大学をオミットする考え方もあるのだ。

100. 日本の政策的科学研究費について

2020/05/01 11:36

毎年、各大学をはじめとして、研究者が政策的な科学研究費を申請し、受け取る。10年ほど前に、当時の政権党のある議員が言った「1番じゃなくて、2番じゃダメなんですか？（スーパーコンピューターの開発について）」が思い出される。これは多分、目標としては正しくないから否定含みだった。

しかしながら、毎年GDPの1%くらいを（5兆円）研究開発費にあてて、何ができたと言うんだろう。まともに市場で売れるものではできていないだろう。スーパーコンピューターだって、あまりいい順位ではない。研究開発には時間がかかる。しかし、20年前からみても、その成果が（100兆円使ったことになる。）ろくにでていないだろう。な

にかがでていると言っても小粒だ。〇ニーのCDドライブの方がよっぽど売れているし、役に立っているだろう（今は、あまり売れていない。DVDになったり、〇ルーレイになったりしている。もっとも今は、普通のメモリを使うのが一般的になってきている。）。要するに、100兆円使っても、〇ニーに勝てなかったわけだ（それだけのお金があれば、〇ニーが10個買える。）。それなら、ベンチャーに投資した方が、資産にもなるし、ましだろうと思う（〇o o g l eを10個育てた方がましだろう。）。

そういうわけだから、研究開発費はやめないにせよ、支給の段階に経営者委員会を設けて、売り物になるものができるか、審査させると良いだろう。支給された研究開発費が、大学の建物の建設費の肩代わりにされているのではしょうがないと思うのである（研究開発費がどこかの大学の研究室に入れば、その分大学は、建設費にあてられる。）。

104. インフレ率2%は達成

2020/05/27 18:39

50年前の住宅に比べると、今の住宅は小さいことが多い。小さいと言っても、住宅が小さいというより、土地が狭い。要するに、木も植えないし、芝生もないということだ。その2つが同じ価格だとすると、住宅価格が2倍になったことになる（食品などの量を減らして、価格を据え置く、実質値上げだ。）。50年で2倍ということは、1年に2%のインフレということになる。政府は物価上昇率2%を目標にしていたから、それは達成されていることになる。

しかし、それが50年また続くと、住宅は50年前の4分の1の大きさになってしまう。つまり、2kのような一軒家だ。それを考えると、日本は経済衰退していたのではないかと言えそう。毎年2%ずつ貧しくなっていると。住宅をみるとそうってしまう。

105. 住宅は予算の4割引きで買え

2020/06/02 20:34

先に、住宅価格（実質）が50年で2倍になった話をした（104）。住宅価格自体はそんなにかわっていないが、敷地面積が半分になったという話だ。50年後もやはり2倍になると考えるなら、住宅の購入にも工夫がいるだろう。支払いの値段じたいは変わらないとしても、今から35年ローンで住宅を購入すれば、その時には、7割増しの想定価格になっている。資産の運用としては悪くないが、ローンの支払いができるかが問題である。

それは、物価の上昇であやしくなる。50年で2倍ということは、年率2%の上昇である。ローン自体の支払額が変わらなくても、給料が上がらなければ、30年後（例えば）の生活費の支出が難しくなる。食費が5万円だったのが8万円、車の維持費が8万円だったのが12.8万円に、教育費が6万円だったのが、9.6万円になる可能性があるからだ。これだと、この3つの支払いが増えた分は、11.4万円となる。増えても問題がないのならば、そう簡単ではないような気がする。ローンの支払い額が12万円

なら、それと同じくらいの額が余計にでなければならなくなる。それなら、購入の段階で物価上昇分を考え、相場の6割くらいの物件を買う方が安全だろう。自信がないのであればそれを（安いという意味ではない。小さいという意味だ。今より半分のサイズに近い「2k」のような一軒家だ。）おすすめする。予算が3000万円だったら、1800万円の住宅ということだ。

106. 60% labour contained.

2020/06/11 01:01

製品の利用価値が大事か、市場価値が大事かという問題がある。投資をするだけなら、市場価値が大事であろう。要するに高く売れるかである。マンションを買って住むのなら、利用価値も大事になる。市場価値より、利用価値が高ければ買って得したとなる。マルクス（経済学者）は、市場価値を重視することを重商主義と言った。彼は、むしろ利用価値に目をつけた。資源のままでは、利用価値はない（鉄鉱石などだ。）。しかし、人間の手が加わることで、利用価値がでてくる（鉄のコップなど。）。だから、マルクスは、利用価値には、人間の労働が含まれていると言う。

ただ、今の時代は、機械やロボットも生産に使われる（英国の蒸気機関を否定するものではありません。）。だから、マルクス風に言えば、製品に人間以外の労働が含まれていることになる。生産現場では、機械やロボットを使い始めると、その仕事を奪われた人間が失業する。その人がうまく、他の仕事を見つけられればいいが、だいたい、前の仕事よりどうでもいい仕事をするのではないか。誰かが代わりの仕事を保証するわけでもない。要するに、市場の外側に追いやられる。そうすると、ある社会の中に、貧しい層（どうでもいい仕事をしている層）ができる。

特に、不景気になれば、食べられなくなるだろう。その層に、政府が給付を与える方法もあるが、それなら、生産現場で機械やロボットを使わなければよいという考え方もある。作られた製品に60%の人間の労働が含まれていると記す。30%の製品より、労働者を大切にしているから、それを買おうというようになれば、まあ人間的だし（機械やロボットが全ての仕事をやるようになったら、人間は何をするのだ。）、労働者にやさしい。そういう表示をする方法はある。

107. 英語が上手くなる方法

2020/06/12 23:42

日本人は、英語が下手と言われる。私も上手くはないが、外国人の話を聞いていて、一つ分かったことがある。それは、主語を少なく、長文でしゃべることである。日本語でもそうだが、「私は」と何回も繰り返さない。日本語は主語がない場合もあるので、英訳するときに、不必要に主語をつけてしまいがちだ。しかし、それではうるさい。それなら、一つの主語で長く話せばいい。

長文を日本語にする学習は学校でそれなりにやるが、日本語の長文を英訳することは少ない。なら、自分でやるしかない。関係代名詞などを使いながら、50ワード、10

0ワードを主語一つで言い切る。この訓練をすれば、「私が」、「私は」とうるさくならずに、話すことができるだろう。はじめは、文字でやってみるといい。

111. つぶしのきくサービス業

2020/06/29 15:22

合衆国の強さは何であろう。帝国ともよばれる。かつては、ポルトガルが、スペインが、イギリスがそうだった。合衆国の強さは、英語（イギリス）だけでなく、スペイン語（スペイン）も使えることだ。要するに、2つの帝国のいいところを持っている。だから強い。日本が帝国になるには、英語と中国語が使えればよいかもしれない。しかし、それは中国ですでにやっている。だからその路線では中国人と喧嘩になるだろう。それに加えてスペイン語もやればいいが、日本の教育では、どちらも重視していない。それが何を意味するかというと、ビジネスチャンスを失うということだ。言葉ができなければビジネスはできない。ただ、モノを売ることはできる。

そういう意味では、日本の教育は、製造業で食べていくことを前提にしている。しかし、今は、サービス業が増えている時代である。それなら、外国人にもサービスできるように、スペイン語、中国語ができた方が客が多くなる。今は、不景気である。早々にサービス業の人が仕事に戻れるかと言ったらそうではない。それなら、語学を習得する時間はあるだろう。

フランス語やドイツ語は日本の学校でも教えているが、使える場面が少ない。だから、先の2つを考えるべきだ。サービス業は、何かあると、真っ先に失業するが、失業しないようにするわけである。

112. カガクのすすめ

2020/07/04 14:42

ある見解、例えば「虫は、コップの中に入った水に溺れることがある。」があったとする。日本の教育現場ではよくあることだが、それを、そのままコピーしても、その人の功績ではない。それをみつけた人の功績だ。つまり、コピーすることは、労働ではない。

労働をしないとどうなるか、答えは貧乏になるであろう。それなら労働をする必要がある。具体的には、「それは、水面に反射する光をほんものだと勘違いするからだ。」と続けられればいい。それは、後の部分はその人の見解、つまり、労働である。

どうも、日本では、三角形の面積の出し方を正確に答えることに重きを置いている部分がある。しかし、それは、大昔の数学者が（多分、日本人ではない。）、考えたことだ。それを正確に答えられたとしても、多分、報酬はない。労働ではないからだ。

確かに、誰かが考えたことを知っているのも大事だ。しかし、それだけでは、貧乏になってしまうだろう。コンピューターの作り方でも同じである。それは、多分、合衆国人が考えたことで、その他の誰かが考えたことではない（先に言ったような、続けるよう

な、改善はいろんな人がやっているだろう。)。コピーするだけでは労働にならない。それをむりやり、手数料を取るといった感じで、労働にすることもできるが、それでも、考えた人や改善した人にいくらか払うだろう。その程度にしか労働にできない。

それなら、先のように、続けることや、そもそもの発見をすることが大事となろう。それをするためには、自分で考えなければ、実験でもいい、ならない。日本では、それをしやすくするような教育設計にはなっていないが、それをしなければ、労働でないから、貧乏になる。それを知っておいていただきたい。答えをどこからかもってくるのは、(手数料は取れるかもしれないが)労働ではない。

113. MMTじゃダメ

2020/07/16 10:32

紙幣はそれ自体に価値があるのではなくて、1万円分の買い物ができる保証があるから価値がある。つまり、無保証状態では価値はない。だから、国債を無制限に発行したり、円を刷ればいいとはならない。日本人が持っている資産程度にしか保証できないからだ。金融資産で言えば、あと10年程度で、政府負債を追い越す。そういう条件があるから、日本ではの言うMMTような効果は得られない。欧米では、個人資産が政府の負債に比べて圧倒的に多いからそれが可能だ。ロジックとしては良くても、前提条件が違うということ。

114. 東アジア〇〇が起こるか。

2020/08/24 00:17

シミュレーションを書きます。

尖閣諸島の問題はさておき、中共軍（中華民国と中華人民共和国があるのでそう書きます。）が台湾を攻撃したとする。

台湾軍は反撃し、ひょっとしたら合衆国軍が台湾をサポートする。その際は、多くが日本国内にある合衆国軍基地から出撃するでしょう。それが出られてきては中共軍としてはやっかいなので、その基地をミサイル攻撃する。そこまでは、普通に考えられる進行です。しかし、問題は、そのミサイルが、日本人の設備にまで飛んでくるかです。

日本人の設備にまで飛んでくると、自衛隊は中共軍と戦闘状態になる。防衛が必要だからです。そうすると、日本人も戦う東アジア戦争になる。もし、日本人の設備に中共軍のミサイルが飛んでこなければ、台湾軍と合衆国軍と、中共軍が戦っているだけになる。このエスカレートがあるかどうか日本人にとって大事なところ。飛んでくる場合は、もう中共軍を敵としてみるしかない。

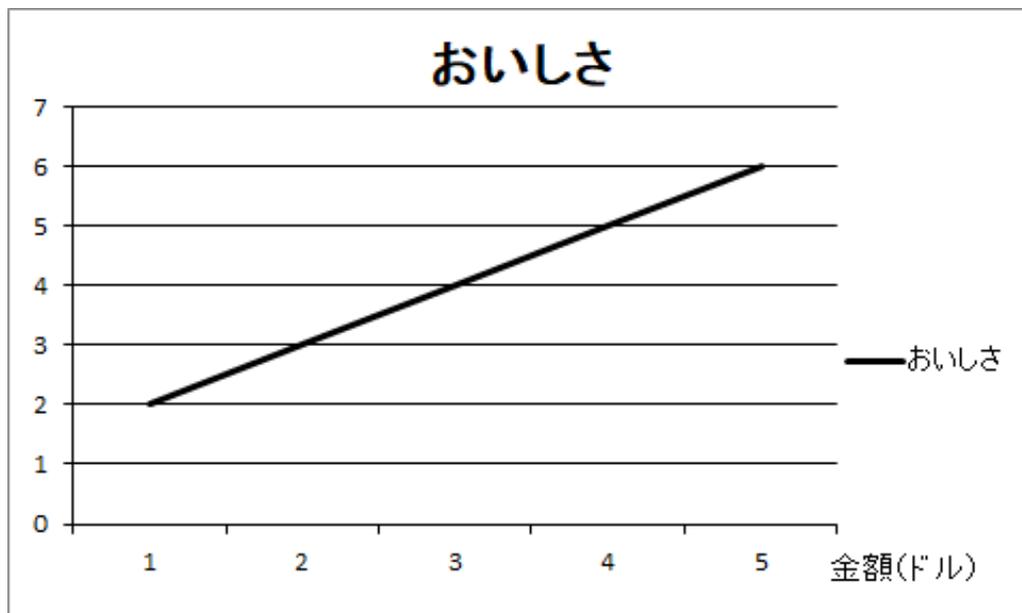
そのところどうなんでしょうか。日本と中共の関係が保たれるのか、敵対するのか。分かれ目です。日本人としては、戦争になるかもと覚悟が必要かもしれません。

115. 戦後の生き方

2020/09/04 06:27

戦後、日本はなぜ、一時的にせよ（昭和時代）、ヨーロッパ各国より経済が好調だったか。私の両親の生き方からそれが説明できそう。私の両親は贅沢をしなかった。親父も特に重要な用事でない限り、飲みにも行かなかった。そうすれば、お金は貯まるであろう。日本人の一定数がそういう生活をしていただけではないか。

何かを食べるとする。1ドルのパンを食べればおいしい。3ドルのパンは、1ドルのパンの3倍おいしいと言えるだろうか。多分そうではないだろう。仮定として、次の図を示す。



1ドル払った時には、おいしさが2、2ドル払った時には、おいしさが3、3ドル払った時には、おいしさが4となっている。これをコストパフォーマンスでいうと、1ドル払った時には、2、2ドル払った時には、1.5、3ドル払った時には、1.33と、よりお金を出すほどに、おいしさのパフォーマンスは落ちていく。それなら、もっとも得をする食事は何かと云ったら、1ドルの食事をすることである。これが贅沢をしない1つの理由だろう。

高い食事をすれば、コストパフォーマンス面で、損をするからである。これは、他の製品にも言えることである。1000ドルするブランドもののバッグが、100ドルのバッグに比べて、10倍長持ちするとは、言えなかつたりするからだ（もっとも、昔のブランドものは10倍長持ちすると言えたようだ。）。

贅沢をしなければ、食事の材料を買う取引でも損をしないし、そんなにお金を使わないからお金も貯まる。2つ良いことがある。もう一回こういう生活を見直してみたらどうかと思う。

116. 私が学生だった頃を思い出してみた。

2020/09/06 05:28

あなたなり、あなたの家族が労働者階級か、中産階級かで、選択が変わってくる。労働者階級とは何かというと、簡単なイメージでは、昼間働いて、夜は、チューハイとやきとりなり、煮込みをつつくかである。この飲み方は昭和によくあったスタイルである。ビールを飲むし、トンカツをつつくというなら、この話にはあまり関係がない。多分中産階級だからだ。別のパターンも挙げておこう。あなたが学食で、うどんを食べるなら、労働者階級かもしれない。親子丼を食べるなら、中産階級だから関係ない。

私は、大学に行った時（高校に行った時もそうだ。）、学食のメニューに、「カツ丼」があったが、一度も食べたことがない。学食を使う場合は、ほとんど、「うどん」を食べていた。それでも、年に2回程度しか使っていない。いつも何を食べていたかという、パンだ。100円のパンをかじっていた。学食には魅力的なメニューもあつたりしたが、かならずしも食べられなかったわけではないが、いつも売店でパンを買っていた。出費をその程度に抑えないと、学費を出すのが大変だったからだ。自分でアルバイトをして学費を払っていた。カツ丼なんかを毎日食べていたら、すぐに学校に行けなくなっただろう。それでも、その食事に不満を持つことはなかった。それなりに、学習していて充実感があつた。

ただ、帰り道、レストランや食堂のライトがまぶしかった。しかし、滅多にそういう店には入らなかった。労働者階級の大学での食事なんてそういうものだ。あなたが中産階級以上ならいいが、うまいものを食べようとして学校に行くのは多分間違いだ。前に書いたが、最も安い食事が最もコストパフォーマンスが良い（115）。労働者階級は、そういう食事をすればいいのだ。もっともコストパフォーマンスが良いし、お金も貯まる。言うことないだろう。

私にとって、その時期もっともコストパフォーマンスが良かったのが、40円のインスタントラーメンだ。今では、値上がりして80円になっているが。そういうのを食べているから、お金も貯まる。学生なら、学校に行ける。もっと言うと、冒頭のチューハイとやきとりは贅沢かもしれない。しかし、自分の家で作れば、そんなに高くない。

私は、30円のチューハイを飲みながら、学生の時を思い出した。ちょっと今贅沢しているなど思った。100円のパンを喜んで食べるようであれば、大学に行く必要はないと思う。「少年よ、大志を抱け。」のような話だ。働いていれば、もっといいものが食べられるだろう。何百万円を払って学校に行く必要はない。そんな景気がいいわけでもないから。それは20年前から変わらない。私の親父は家で飲むのが好きだと言っていた。そりゃそうだろう。安く済む。甲類焼酎を飲みながら、親父も飲んでいたなど思う。

117. 日本人は欧米と比べて豊かになれるか。

2020/09/06 16:29

戦後、日本は復興し、先進国の一員となりました。80年代には、経済的に、合衆国を追い越す勢いがありました。しかし、90年代以降、日本の経済成長はわずかになり、給料も上がっていないと言います。10年代以降は、各国の通貨高を抑えるために、金融緩和政策をとることが多くなりました。これは、通貨高を抑えて、輸出を有利にするためと説明できますが、各国が同じような政策をとったために、あまり効果は出ていません。また、日本では賃金が上がっていませんが、欧米では、物価の上昇もあって、賃金が上がっていると聞きます。また、個人金融資産も欧米では、増え方が大きいと言います。そんな中、今後、欧米並みの豊かな生活を日本人はおくれるのでしょうか。

今のまま日本人が変わらなければ、欧米との差は開いていくでしょう。しかし、変わるポイントがあります。

日本の住宅の平均使用年数は30年と言います（国土交通省「長持ち住宅の手引き」、<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/tebiki.pdf>）。合衆国が55年。英国が77年です。その差は、合衆国で日本の1.83倍、英国では、2.56倍です。もし、このように、日本人が住宅を長く使わず立て替えていたら、日本人の住宅に関わるコストは、先の数字のように、合衆国の1.83倍、英国の2.56倍になります。ということは、その分個人金融資産が増えないということになります。その率では、合衆国の54%、英国の38%分となります（住宅の購入額が個人金融資産のすべてと仮定した場合）。それでは、これら2国との豊かさの差は開いていくでしょう。

以上から、日本人は、豊かに暮らすためには、住宅を長く使う必要があるでしょう。住宅ローンが終わらないうちに、また新しい住宅ローンを組むのは、冗談としか思えません。それができれば、欧米との差は縮まらないにしても、開いていきにくくなるでしょう。

118. 日本という国はあと55年で外国の植民地になるか。

2020/09/07 10:52

先に、日本と英米の住宅の使用期間について述べました。それだと、合衆国が日本の1.83倍、英国が日本の2.56倍長く使っていると述べました。ということは、日本人の方が、合衆国の1.83倍、英国の2.56倍多く住宅にお金を使っていることになります。すると、合衆国人は、55年で日本人より2490万円多く貯金ができます（住宅価格が3000万円とした場合。3000万円 \times 1.83 = 5490万円、5490万円 - 3000万円 = 2490万円。）。英国人は、77年で日本人より4680万円多く貯金ができます（3000万円 \times 2.56 = 7680万円、7680万円 - 3000万円 = 4680万円。）。

これを、その国民全体で考えると、合衆国人の金融資産は、55年で、日本人のそれより、7470兆円多くなります（2490万円 \times 3億人 = 7470兆円。）。英国人のそれは、77年で、日本人のそれより、2340兆円多くなります（4680万円 \times 5000万人 = 2340兆円。）。

合衆国人が55年後、日本人より7470兆円多く持った時、例えば、そのお金で、日本のすべての会社を買うことができます。日本の全ての（東証上場）会社の時価総額は600兆円程度なので、7000円持っているときに、600円の弁当を買う感覚で買えてしまいます。もしそうなれば、日本は、実質的な植民地となります。そういう意味で、この住宅の使用による経済格差を作ってしまうことは危険なような気がします。単純に言うと、長く使った方がいいということです。

建築労働者を養うという社会主義的な考えは、美談なようですが、社会主義は資本主義に勝てませんでした。そういう意味で、建築業界の競争が必要なような気がします。住宅の使用期間が2.56倍になれば、建築労働者の数は、今の4割しかいらなくなりますが、しょうがないような気がします。

119. 日本人は欧米と比べて豊かになれるか2

2020/09/08 12:27

この前、同シリーズの住宅編を書きました。今回は自動車編です。

自動車も、住宅と同じように、長く使った方がお得。しかし、英国、合衆国と比べて、13.5年（英国）、13年（合衆国）、12.6年（日本）とあまり差がありません（国土交通省「トレーサビリティ・サービスの展開に必要な取組みについて」、<https://www.mlit.go.jp/common/001063634.pdf>）。しかし、新車を多く買うか、中古車を多く買うかに差があります。英国の新車：中古車販売の比率に差があります。英国が、1：3.5、合衆国が、1：3、日本が、1：0.4です。日本人は新車を買いたがる。しかし、欧米のように、中古車をもっと買っていいかもしれません。

日本では、中古車が年間200万台程度しか売れないのに比べて、合衆国では、4000万台売れている。「車を買う。」と言った時に、欧米では、中古車を買うという意味が大きいのでしょう。価格は、日本と英国が100万円程度なのに対して、合衆国では、80万円ほどです。中古車を買うのでも、合衆国の方がお得になっています。

65年間車に乗るのでも、日本人は4回新車を買って、1回中古車を買うというパターンだから、（新車を300万円とします。）300万円(€4)+100万円(€1)で、1300万円となります。合衆国では、中古車を4回買って、新車を1回買うから、80万円(€4)+300万円(€1)で、620万円、英国では、100万円(€4)+300万円(€1)で、700万円となります。つまり、日本人と欧米人との間に、車の購入費で、600万円の差ができる。つまり、欧米のようにおさえれば、600万円の貯金が追加的にできるということになります。これは、国民全体で見れば、すごい金額になります。600兆円です。これは、日本の企業ほぼ全部が買えるだけの差です。それなら、節約するのが賢いと思えますがどうでしょう。

120. 日本人は欧米と比べて豊かになれるか3

2020/09/09 08:26

シリーズ3回目の今回は、食費です。

日本では、80年代の円高移行以降、食が豊かになってきました。その時代と比べると、数字では落ち着いたように見えます（25.5% [(家計に占める割合) から22.9%と。]）（農林水産省『平成23年度食料・農業・農村白書』、https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h23_h/trend/part1/chap2/c2_2_01.html）。

2005年時点での家計の消費支出に占める食費の割合は、日本が22.9%、英国が18.1%、合衆国が13.6%です。面白いのが美食と言われるフランスでさえ18.8%です。日本人は、フランス人より美味しいものを食べているのでしょうか。

日本人の平均年収は、450万円程度ですから、この数字を使い計算します。日本人は、年間103万円食費に使っている。英国人は、81万円。合衆国人は、61万円使っている。年間で22万円、42万円差があります。これが60年続くと、1320万円、2520万円の差になります。どうも中古住宅が1件買えるほどの差が出るようです。美味しいものを食べるか、1320万円、2520万円の貯金をとるか考えた方が良いかもしれません。やはりこれでも、らくに日本のほぼ全部の企業が買えるだけの差がついてしまいます（660兆円。1320万円(≒5000万人。7560兆円。2520万円(≒3億人。)

121. 日本人は欧米と比べて豊かになれるか 小結論

2020/09/09 08:53

豊かさの定義は、いまいはっきりしません。しかし、金融資産の量を豊かさとするなら、現在のところ、日本人はまあまあ豊かです（日本、1830兆円、英国、965兆円、合衆国、9558兆円。）（金融庁「人生100年時代における資産形成」https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/market_wg/siryoku/20190412/03.pdf）。しかし、シリーズの1~3で見たように、日本人の住宅、自動車、食料購入には、欧米と比べてムダがあります。だから、今後、金融資産の量で差がつけられるのは、考えられるシナリオです。

どれだけ貯金ができるか

	日本人	英国人	合衆国人
住宅	+0 30年利用	+4680万円 77年使う	+2490万円 55年使う
自動車 65年使う前	+0 新車を中古車 の2.5倍利用	+600万円 中古車を新車 の3.5倍利用	+680万円 中古車を新車 の3倍利用
食費 60年で	+0 食費22.9%	+1320万円 食費18.1%	+2520万円 食費13.6%
計	+0	+6600万円	+5670万円

トータル	×人口		
住宅	+0	+2340兆円	+7470兆円
自動車	+0	+300兆円	+1980兆円
食費	+0	+660兆円	+7560兆円
計	+0	+3300兆円	+1京7010兆円

一体どれだけの差をつけられるか。それを表にまとめました。60年から77年で上のようになります。

住宅で、2490万円から4680万円の貯金の差が出ます。日本人が住宅を長く使わないからです。自動車で、600万円から680万円の差が出ます。日本人が中古車をあまり使わないからです。食費で、1320万円から2520万円の差が出ます。日本人が贅沢をするからです。結局、5670万円から6600万円の差がでます。これは大きな額でしょう。日本人が無駄遣いをやめないと、これだけの差が出ます。

カネを回した方が、経済に良いと言われそうですが、そういう社会主義の体制は、資本主義には勝てませんでした。だから、貯金は大事でしょう。残念ながら、早めに日本人が無駄遣いを改めないと、欧米の豊かさには届かなくなってしまいます。貯金をしておいた方がインフレなどが起こっても安心です（通貨以外で運用）。生活を見直してみてもいいでしょうか。貯金の原資は、上の3つにあります。

122. 電子コンピュータライズはやめとけ

2020/09/16 18:49

最近よく、企業活動の中で電子コンピューター化しろなどと聞く。しかし、それはどうなのか。まるで流行のように言われているような気がする。それをやったとして、日本全体の企業が儲かるのだろうか。多分儲からない。電子コンピューターは、合衆国人の発明だ。合衆国人はそれを作れる。また、その技術もある。また、インプルーブもで

きる。また、最近では、中国人も作れる。合衆国人が技術を供給するかは分からないが、日本の大手パソコンメーカーは、消費者部門をすでに中国企業に譲っている。また、日本の電子コンピューター会社が頑張っても、中国以上に安く作れない。日本の企業は人を多く使っているからだ。

ということは、電子コンピューター市場では、日本企業は、合衆国企業や、中国企業に勝てない。最近では、輸出しているとも聞かない。輸入は多いにもかかわらずである。要するに、電子コンピューター関連では、貿易で儲けられないのである。ソフトウェアも輸出は少なく、輸入ばかりであろう。それなのにそういうものをより使おうとするか。それでは赤字であろう。そんなことは儲けているところがやればよい。日本人に利益は少ない。話題になったハンコであるが、あれは安い。そして、壊れにくい。電子ハンコにするのも良いように思えるかもしれないが、ソフトウェアはそれほど安くない。また、電子コンピューター特有の問題もある（ハッキングや不具合である。）。そんな高く、壊れやすいものを使う必要があるのか。かつて中国人は、このハンコを発明した（皇帝のハンコなどである。漢の時代にはすでにあつたようだ。）。

合衆国人は、そういう古い文明に挑戦している。儲けようというわけだ。紙を使わないのもそうだ。紙はやはり中国人が発明した。合衆国人は、別のものを作って売ろうとする。ディスプレイやキーボードである。合衆国人が挑戦するのは結構だが、日本人までそれに付き合う必要はない。また、それで損をすることはない。どちらにせよ、外国の技術なのだ。日本人も挑戦するなら、別の何かを作るべきだろう。電子コンピューターを増やしても儲からない。

また、もう一つの懸念がある。戦前、日本には石油がなかった。燃料である。それを止められたから、戦争をすることになった。そして負け、戦後、食糧も外国に頼ることになった。石油と食料は、日本の弱点である。戦後に、食糧も弱点となった。これらを止められると、日本は生活が難しくなる。今、これに加えて、電子コンピューターも弱点に加える必要はない。企業活動で使っている電子コンピューターを強制終了させられる必要はない。電子コンピューターを止められて、経済活動がストップするのでは面白くない。

そういうわけだから、電子コンピューターライズは、遊び程度にやればよいと思う。本来的には必要ないのだが。

1 2 3. 日本の1 / 3の労働者は要らない？

2020/09/19 11:49

日本の労働者の生産性は、先進国で最低レベルと言います。早い話が、長い時間働けど、中身は少ないということです。以前のデータでは、合衆国人の労働生産性は、日本人の1.4倍あるということです。要するに、合衆国人は、日本人の1.4倍長く働くか、1.4倍中身を作るとということです。しかし、前者ではない。これでは、豊かさに差が出てきます。

もし日本人が合衆国人と同じ程度に働いたらどうなるか。100ある仕事を1倍で働いたとすると、100人必要です。100ある仕事を1.4倍で働くと、71人しか要

らないことになる。そうすると、日本の労働者は現状と比べて、3割はだぶついていることになります。単純に言うと、3割の労働者は要らない。その人たちをどう食べさせていくかという政治的な話ですが、一つに社会主義的政策がある。単純に言うと全員雇うです。ただ、これだと、先に言ったように、生産性の問題が出てくる。仮に、100人が1.4倍働くとしても、そこまで需要がないかもしれない。また、普通、社会主義体制では、労働者を重んじるあまりに、品質が落ちる（品質より、労働者の権利に重きを置くから）。つまり、国際競争に負ける。また、社会主義が資本主義に勝ったという話は聞きません。いずれ貧しくなる。

それなら、作業時間を7割にすればいいが、だいたい街を歩いている人も、すごく速く歩いている人はそういません。だから多分簡単ではない。また、作業時間を7割にすると、給料が減ってしまう。それなら、仕事の量を140にすればいいが、日本でベンチャーというのはあまり出てきていません。仕事の質を1.4倍にする方法もあるでしょう。高品質なものを作るということです。

こういうように、労働者を3割減らす（仕事の量を1.4倍にする）、作業時間を3割減らす（仕事の量を1.4倍にする）、仕事の質を1.4倍にするといったことが考えられるが、どうすればいい社会になるのでしょうか。今のところ、3割の労働者は削減されていませんから（非正規雇用はあります）、とりあえず、作業を速くやるとか、仕事の質を上げるとか、売り上げを増やすとかでしょうか。うまくいかないと、その3割はいつでも切られる可能性があります。

125. なぜ建物の寿命が短くなったのに、「品質が良くなった。」なのか
2020/09/19 19:08

日本の一戸建ての平均利用期間は30年と言う（117）。英国では77年、合衆国では55年。それを過ぎるとだいたい解体するということである。昔の日本の建築物は、200年もつと言う。寺なんかも、修理しながら、1000年以上になるところも少なくないだろう。200年もっていた建築物が、30年しか持たなくなったというのは、普通に言えば、技術の衰退であろう。1/7にである。

しかしそれでも、建築物を買う日本人は、どこかで「品質が昔より良くなった。」と思っているのではないか。例えば、断熱性能が200%になったとかである。しかし、それは、部品の問題である。昔の200年もつ建物に、それを入れれば、やはり断熱性能は200%になるだろう。その部品の性能が良くなったのはまったくの嘘ではない。しかし、建物全体の性能が昔の建築物の14%になっていることを覆い隠せるような性能の良さではない。正確に言うと、性能は14%になっていると言うべきだろう。

なぜそのような品質の悪化が起こったか。それは多分、戦後に流行った社会主義のためであろう。戦中に、各地が空爆して焼かれ、戦後、建物を再建する必要があった。一時的な大きな需要である。そのために、大工が大量に必要とされた。建物を供給するためである。しかし、すべてが再建し終わると、その一時的な大きな需要はなくなる。そうすると、建物は過供給になって、価格も下がるし、大工の賃金も下がるだろう。これが自

由主義経済である。しかし、戦後になって特に規制されなくなった社会主義が流行って、大工の面倒を見ようという風潮が生まれたのではないか。それを達成するには、建物を大量に供給できれば良い。それを達成するためには、建物の性能が悪い方が良い。そうやって、大量の大工を養うために、従来の1/7の性能しかない建物を供給する態勢が生まれた。

いくらなんでもこれはバカバカしいのではないか。品質が1/7であるし、価格も上がっているだろう。西暦0年ごろに建てられたローマの建造物は、今も残っているが、そういった耐久性を実現するのは技術である。日本でも寺は1000年も残っているのに、庶民の住宅が30年しかもたないのは、おかしいと言わざるを得ない。また、200年もつ建物を作る技術は残っているだろう。30年しかもたなければ、財産も築きづらい。そんなバカバカしいことに金をつぎ込むべきではないと思う。以下は、建物と社会主義の式である。

$$b = 1 / s$$

建物の耐久性は、社会主義の強さに反比例するという式だ。社会主義を進めると、生産の逆をやりだすということである。これは、他の製品にも言えるかもしれない。経済成長が左から右へ行って、また右から左へ戻るのでは進歩がない。日本の場合は、建物の品質が1/7になってしまった。これは戻しすぎだろう。日本は1500年続いているが、1/7だと、214年しかもたない。社会主義をやるとそうなるということである。ソ連が崩壊して、社会主義が負けたということをもう1回考えるべきであろう。

126. 社会主義より節制主義でいこう。

2020/09/20 13:32

社会主義経済は、品質が進歩の結果10になったものを3にしてしまうような経済体制だと書いた(125)。具体的には、昔の建物が200年もったのが、30年しかもたなくなるという例である。これを私は逆生産と言うが、現代の日本に見られる。

テレビなどの家電もやはりそうである。進歩してそういうイメージであるが、テレビ本体としては、90年代に、2万円で買って、20年もったものが、今では5万円出して、10年もつという感じであろうか。仮に20年もったとしても、コスト/パフォーマンスは、1年あたり1000円と、2500円という差がある。これは何を意味するかというと、品質が悪くなったのである。社会主義体制ではこういうことが起こる。もっとひどくなると、労働者が賃金をもらっているにもかかわらず、働かなくなる。そうすると、モノが不足し、インフレが起こる。これは、ソ連に見られた例である。そんな経済体制ではしょうがない。確かに、国内は、わりと平等に保たれるかもしれないが、品質が悪くなるということは、国際競争から脱落する。つまり、競争力がないから、輸出できない。その結果、日本人はさらに貧乏になるということである。だから、社会主義的

に「経済をまわす」という考え方は、毒であると思う。そういう考え方はしなくてよい。

また同時に、政府が公共投資をするという考え方や期待がある。これは、20世紀初めに経済学者ケインズが提唱した需要刺激策であろう。これもまた幅をきかせている。日本でこの考え方をとらない経済学者は少ないようだし、悪く言われる。それだけ景気信仰が根強い。しかし、これもまた社会主義政策のようである。どういうことかということ、1年という予算の短い期間で、また逆生産を行うからである。その差は一時的かどうかである。そのような政策も不要である。自然な需要を満たしていく。それだけでよいであろう。

先に書いた社会主義経済体制と需要刺激策は、集団的に行われる。しかし、基本的に財布は個人の物である。だから、個人がしっかりと財布のマネジメントを行えば、個人は豊かになるはずである。雇用がないという問題もあるが、雇用があるという前提で言っている。個人の集合が集団なわけだから、個人が強ければ、集団も強い。ご存知のように、今の日本は、政府が弱い（権力が弱いという意味ではない）。赤字がひどい。そうだとすると、政府と付き合っていると、赤字の面倒をみさせられる可能性があるということだ。その赤字の政府に期待するのはよいことではないだろう。個人も、政府も、財布の状態が良ければいい。それだけだ。

ではどうすれば、個人や政府の財布の状態が良くなるか。よくあるのは、仕事をして収入を得て、その範囲内で買い物をする事だろう。残念ながら、個人はともかく、政府はそれができていない。政府は政府で努力する必要があるだろう。それは、政府関係者のやることである。個人はどうすればいいか。財布の状態が良いなら、貯金をする事である。他の金融資産でもいい。

今の日本では、全労働者の3割は、必ずしも必要でない(123)。どういうことかということ、社会主義的な経済体制だから雇われていると考えればいい。国際的に競争力をもつには、良い品質のものを安く提供すればよい。しかし、社会主義的な経済体制だと、逆生産が生ずるから、競争ができなくなる。7割の労働者が1.4倍多く(生産性が1.4倍ということである。)働けば、トップクラスの競争力をもてる。残念ながら、10割の労働者が1.4倍働いても、それだけ需要はないだろう。だからそうなる。それでは、3割の労働者が失業する。しかし、何度も言うように、国際競争力がないと、日本は貧しくなるだけである。その3割は、訓練したり、新しい仕事を見つけたりすればよい。ただ、貯金があれば、それなりに食べていける。だから、すべての労働者は3割の収入を貯金すればよい。そうすれば、3割の期間失業しても、貯金で食べていける。心配ならもっとの割合で貯金をすればいい。失業する人も、率で言えば3割の期間である。その期間は貯金で食べられる。

昔は、日本人は贅沢をしなかつただろう。ご飯と汁と漬物といった食生活だ。魚屋が来れば魚を食べてもいいだろう(肉は食べなかつたと聞く。)。戦中は、「贅沢は敵」だと言った。今は特に戦っているわけではないかもしれないが、質素な生活をして、貯金をしておけば安心だろう。30年前の羽田空港には、焼きそばとホットドッグを売る店しかなかった。その調子でやればよいと思う。

127. 給料の1/3を貯金 解説

2020/09/21 14:29

今の日本の労働市場では、3割の労働者は、不要である。社会主義的に雇われていると考えればいい。なぜか。合衆国人の労働生産性は、日本人の1.4倍である。日本人が100の仕事量で、労働生産性を合衆国人並みにすると、140ではなく、100しか要らないから、3割の労働力が不要になる。労働生産性を上げないと、国際競争ができない。そうすると、輸出ができないから、輸入が多い日本では、貧しくなるということである。それは面白くないだろう。また、社会主義だと、製品の品質が悪くなる(125, 126)。建物もそうだし、テレビもそうだ。それもまずい。

だとしたら、どうやって失業に備えればよいか。それは、最低給料の1/3を貯金することである。手取りが18万円だったら、6万円を貯金することである。失業する確率が1/3(3割)であるから、2/3の期間は失業しない計算になる。その2/3の期間に、6万円と6万円を貯められていれば、失業した1/3の期間は、その貯金を切り崩して生活できる。12万円だから、2/3の期間も、1/3の期間も生活はそうかわらない。

まずは、給料の1/3を貯金できるようにすることである。失業しやすい業界に勤めているなら、失業する確率の分、(例えば1/2)貯金すればいいだろう。これができていれば安心である。もっと言うと、現在の日本では、たくさん支出できるほど豊かではないということだ。しかし、頑張るのをやめてしまったり、社会主義に走ったりすれば、諸外国との差はもっと開いてしまう。基本的に給料の2/3で生活するようにすればいいだけだ。これは、個人の努力でできることである。戦前の日本人はそれができていたと思う。

130. フゲンカチについて

2020/10/09 10:53

わたしは、コーヒーのまめをひいたものにかけている。100グラム100エンとする(ジッサイに、そのテイドのものにかけている。)。コーヒーのまめをひいたものというと、コーヒーのきから、みをとって、バイセンして(ここまではおなじだ。)、まめをひいたものである。ひいていないまめをさがしていたら、どうもたかい。100グラム500エンくらいがおおい。コーヒーをひくサギョウがあるから(それにコストがかかるはずだ。)、ひいたもののホウがたかいはずだ。しかし、さがしてみると、そんなかんじだったりする。ひいてないホウがたかいことがおおいのだ。これでは、コーヒーのまめをひくというロウドウをしようとする、むしろたかくつき、あかじがでる。ようするに、かねもちしか、そのロウドウはできないわけである。

そのロウドウはシュミであろう。シュウエキはでない。むしろ400エンのあかじがでる。アンガイ、そうやって、シュミカしたロウドウは、ふえているかもしれない。オンガクはつくるのがタイヘンだが、そんなにたかくうれるわけではない。むしろ、ドウグ

をかうホウがたかいのではないか。そんなロウドウがある。

このばあいにいえるのが、コーヒーのまめをひくというロウドウが、マイナスのヒョウカになっているということである。つまり、ロウドウをすることで、マイナス 400 エンカチがくわわったということだ。これをフゲンカチとよぼう（ゲンザンのゲンである。）。ロウドウをすること、よりやすくなってしまうおそろしいカチだ。ここでしはらわれるマイナス 400 エンのホウシュウをディスフィーとよぼう。

1 3 2. 「2 倍の兵力」

2020/10/17 04:00

「敵の 2 倍の兵力で攻めれば安心」という考えがある。これは孫子だったと思うが、これで考えると、合衆国と中国がぶつかると、労働力が多い中国人が有利に思える（3 億人:1 3 億人）。しかしながら、兵器の差もある。肉弾戦ではないだろうからだ。兵器を作るには、資源が必要だ。また、お金を使って取引するので、結局、お金が必要だ。合衆国の政府負債は約 2 0 0 0 兆円、個人金融資産が約 7 5 0 0 兆円ある。一方、中国は、政府負債は約 3 0 0 0 兆円、個人金融資産が約 3 0 0 0 兆円ある。これを整理すると、5 5 0 0 兆円:0 兆円になる。

この資産の差で言うと、合衆国は、普通の兵力に加え、1 年の間、給料が 5 0 0 円として、1 1 億人の追加兵力を雇える余力があるということだ。1 年間の間で決着がつくとすれば、1 4 億人:1 3 億人で肉弾戦でも互角である。もし衝突するとすれば、中国は長期化するように戦うだろう。2 年目には、3 億人:1 3 億人になるからだ。ただ、3 億人と 1 3 億人の「兵力」を雇うお金が両方の政府にあるかは疑問である。年間 1 5 0 0 兆円と 6 5 0 0 兆円だからである。

1 3 5. シャカブスウチ

2020/10/24 17:31

マエニ、シャカイシュギノケイザイタイセイダト、セイヒンノヒンシツガワルクナルハナシヲシタ（1 2 5、1 2 6）。ソレハ、ジュウギョウインノコヨウサイユウセンニスルカラデア。ソレヲタッセイスルニハ、シツノワルイモノヲタカクウレバヨイコトニナル。ソレデハ、キョウソウリョクガナクナル。マタ、カブヌシシホンシュギデモ、セイヒンノシツガワルクナル。ソレハ、カブヌシヘノハイトウヨウユウセンニスルカラデア。コレモ、シツノワルイモノヲタクサンウレバヨイ。ニホンキギョウハ、コノフタツノセセイシツヲドチラモモッテイルトオモウ。

オウベイナラ、エンリョナクカイコスルトコロヲ、ナカナカカイコデキナカッタリスル。ダカラ、オウベイヨリシャカイシュギテキダ。クワエテ、カブヌシヘノハイトウモキニスル。コノニホンキギョウノシャカイシュギト、カブヌシシホンシュギヲタシタスウチガ、オウベイヨリヒクケレバ、キョウソウリョクヲモツダロウガ、タカケレバ、ショウブニナラナイ。オマケニ、シンコウコクキギョウモアル。コノ「シャカブスウチ」ヲサ

ゲルヒツヨウガアルダロウ。

136. 小売業のリストラが始まる。

2020/11/18 00:27

マエニ、ドウロヲハシルクルマヲミレバ、ジーディピーガワカルトイウハナシヲシタ (●セツチョ『モノノハイチハ、ジュウリョクダケデカタレナイ。』ロクジュウキュウ、『むしのツゴウニンゲンのツゴウ』ヒャクハチ、ドウ『アルクカラカンガエル』ニヒャクサンジュウイチ、ニヒャクニジュウゴ)。ジーディピーガオチテイレバ、ハシルクルマノカズモスクナクナルデアロウコトハ、リクツデイエルダロウカラダ。ソレトオナジヨウリョウデ、ニホンデイチバンオオキナホンヤ (ガイシケイノデアル。) ノウリアゲヲミレバ、ジーディピーガワカルトモイエソウダ。グタイテキニハ、ソノウリアゲニ、ケイスウヲカケテ、ジーディピーヲダスヨウダロウ。

トコロガ、コノキギョウハ、マダマダセイチョウシテイルヨウダカラ、ケイスウハ、マダマダカワツテイクダロウ。モットイウト、ソノケイスウノハンイナイデシカ、ソノキギョウハオオキクナレナイトモイエル。シカシ、ソノキギョウハ、ニホンデユイイツノコウリキギョウデハナイノデ、ホカノコウリキギョウト、ソノケイスウノヨウナモノヲワケアウヨウダロウ。つまり、ソノキギョウガ、ウリアゲヲノバスト、ソノホカノキギョウガ、ウリアゲヲオトストイウカンケイダ。ソノホカノキギョウトハナニカトイウト、ニホンノコウリギョウノスペテノカイシャナドデアル。

レイノキギョウガノビテイルカラ、ホカノコウリキギョウハ、ギョウセキヲオトシテイルダロウトソウゾウガツク。ドウスレバ、レイノコウリキギョウニショウバイデカテルカ。ソレハ、ヨリヤスクウツテ、ヨリヒクイコストデウンエイヌルホカニナイ。つまり、レイノキギョウニカトウトスルト、リストラセザルヲエナイコトニナル。レイノキギョウガ、イチマンニンノコヨウデ、イチチョウエンヲウリアゲルナラ、ヒャクニンノコヨウデ、ヒャクオクエンウレルトイウヒリツガサイテイヒツヨウニナル。モットコマカクイウト、ヒトリデイチオクエンウルノウリョクガナケレバ、レイノカイシャニハカテナイコトニナル。ソウスルト、リストラデジュウギョウインヲヘラスデハナクテ、アカジデ、ヘラスコトニナル。

コウリギョウハ、ソウイウリストラノジダイニハイツタトオモウ。コジンショウテンガヘツタトイワレルガ、コノサキ、マダマダヘリソウデアル。イマ、カンセンショウデ、インショクテンガキビシイトイワレルガ、フツウノコウリテンモキビシクナルノデハトオモウ。ネンカンイチオクエンノウリアゲヲダセルコウリギョウジュウギョウインハ、「セイキシヤイン」、イチオクエンダセナイジュウギョウインハ、サキユキガフトウメイナ、「ヒセイキシヤイン」トイツタトコロデアロウカ。

138. 日本人は勤勉だから先進国になれたわけではない。

2020/12/18 14:45

ニホンジンハ、キンベンダトカ、トウシュウ（ヨクイワレルヨーロッパノトウホウノチイキヨサスコトバハ、ショクミンチ [ヨーロッパノ] ヤ、ゾッコクヲサスコトバデモアルノデ、リヨウシナイ。）。デ、ユイイツセンシンコクニナツタトカイウ。コレハホントウナノダロウカ。ワタシニイワセレバ、コレハ、ゼンシャハウソデ、コウシャハタダシイ。ナゼナラ、ニホンノメイジキカラ、ゲンザイマデノケイザイハッテンハ、アルギセイトイウカガアツタカラカノウトナツタ。ツマリ、タダデケイザイハッテンシタワケデハナイ。

ソノギセイトハナニカトイウト、ツウカカチガ、ギセイニナツタ。ムカシハ、ジュウエーデ、クルマガカエタナドトイウガ、イマハ、ジュウエーデクルマハカエナイ。ジュウマンバイノヒャクマンエンダシテモ、カエルカワカラナイ。ツウカノカチハナニデキマルカ。ムカシハ、ガッシュウコクデモ、ナナジュウンネンダイクライマデ、キンホンイセイヲトッテイタ。ツウカノカチハキンノホユウリョウデキマル。キンツウカライツテイノリツデコウカンデキルセイダガキンホンイセイデア。エドジダイニ、コバンガツカワレテイタノハゴゾンジダロウ。コバントハ、キンデツクラレタカヘイデア。

メイジニナツテ、ニホンガカイコクシタアト、オウベイカラ、ギジュウツヤジョウホウ、セイヒンヲトリイレ、ソノカワリニ、キンヤギンガデテイッタ（ソレクライデシカハラエナカッタトモイエル。）。ソノケツカガツウカカチノゲラクデア。ソウトウキンヤギンガデテイッタダロウ。ニホンニハ、ソレダケノキンヤギンガアツタトイウコトデア。ツマリ、ユタカデアツタワケダ。ソレガアツタカラ、ギジュウツヤジョウホウヲトリイレ、センシンコクニナレタ。モットイウト、ソレダケノキンヤギンガナイト、センシンコクニハ、ナレナカッタトイウコトデア。

ソレヲ、ニホンジンガキンベンダカラトカンチガイシテハイケナイ。カネモチダツタカラデキタダケダ。ニホンジンハ、オナジトウシュウノヒトヲバカニシタリスルコトガアルガ、キンベンサデハ、ソウカワラナイダロウ。ソレヲカンチガイシテハイケナイ。

139. 高度経済成長なんてなかった。

2021/01/03 02:11

日本は、戦後高度経済成長があったというのが定説である。しかし、私は、これは間違いだと思う。経済成長とは、国が豊かになることである。ところが、戦前に、10円程度で買っていた自動車が、今では、その10万倍の100万円を出しても買えない。これはどういうことかと言うと、通貨の価値が落ちたのである。具体的に言うと、通貨の価値を保証していた金が海外に出ていったということである。それはある意味仕方ない。議会政治システムを輸入したり、造船、鉄鋼の技術を輸入したり、紡績の技術をだったり、飛行機の技術だったり、学校のシステム、電話の技術、科学技術など、かなり輸入したであろう。その支払いに金がかわれた。戦後も戦後で、自動車の技術、家電の技術、科学技術、コンピュータ関連技術などをやはり輸入した。この支払いにも、金がかわれたと考えてよいだろう。戦後、3000円だった月給が、今では100倍の30万円である。通貨の価値が1/100になっている。

要するに、日本人の努力や、経済成長があったわけではなく、金があった。それだけなのだ。日本には金があったから、先進国（のよう）になれたということだ。それを勘違いしてはいけないと思う。

140. 温室効果ガスの削減について

2021/01/17 11:23

京都議定書で、温室効果ガスの削減をうたって、20年以上経つ。日本の当初の目標は、90年比6%の削減。これは達成できたであろうか。私は達成した。結局は、個人の排出量の総計が、日本の排出量であるから、個人が削減する必要がある。企業の場合も、結局は所有者は個人ないし、個人の集合（株主）である。ということは、企業の場合、株主は、排出削減の義務を負うことになる。私は、排出権取引に賛成であるから、排出削減を達成できなかった場合は、排出権を買えばいいと思う。排出量を削減できた場合には、排出権を売れるから、インセンティブになると思う。もっと言えば、排出量を削減できない企業は株価が下がり、個人もまた評判が下がるだろう。

私は、1990年当時湯船に毎日入っていたが、最近、それを半分程度に減らした。これは50%の削減である。ただ大きいのは、移動であろう。温室効果ガスを50%減らすには、90年比で通勤の距離を50%削減しないといけない（徒歩や自転車通勤はその限りでない）。クリーンエネルギーの車やバスは、日本にはめったにないし、電車にしたって、電気は日本では、80%は火力発電だろう。それならやはり、通勤の距離を減らす必要がある。それをわかっている人は、都内にマンションを買ったり、地元志向で生活しているのであろう。削減できないと、評判を落とすからである（特に削減に厳しいヨーロッパの先進国とは取引できないであろう）。

温室効果ガスを7割減らすとしたら、通勤の距離を7割減らすことになる。例えば、90年に大宮から大手町に通勤していたら、赤羽から通勤するか、川口までの通勤にするために、転職しなければならない。

これが、今の主要なゲームである。落第すれば、評判を落とす。通勤は近くにすることがある。戦後からこれまでのように、50km離れた郊外から東京に通勤するのは、「落第」であるのだ。つまり、郊外に住宅を買って、東京に通勤するのは終わっているのだ。

今では、通信技術があるので、在宅で働ける仕事が多いだらう。感染症騒ぎが終わってもこれは継続しなければならないだろう。今の日本人が移動の自由権を獲得するには、クリーンエネルギー自動車や、発電のクリーン化が必要だろう。「そんなこと知るもんか。」では、日本人は野蛮だとなってしまう。やはりきちんと取り組む必要があるだろう。

141. 今後の東京での商売

2021/1/20

温室効果ガスを90年比50%削減するとなると、家庭では、湯船に入る回数を半分

に減らすなどの行動になる。個人が減らさないと、全体の量も減らないからだ。最も個人で量が多いであろうのが移動。移動を50%減らすことになる。私は、90年に10kmほどをバスで通学していたから、削減すると5kmの通勤となる。

これは、ヨーロッパ先進国だけでなく、日本も合意したスタンダードである。当初は、先進国だけだったが、今は、発展途上国も含められている。ただ、先進国がまずやらないといけない。

以上を鑑みると、今後の東京のあり方が見えてくる。50代以上の人は、90年当時に既に通学、通勤をしていただろうから、それなりの移動権を持っている。削減すると、大宮から大手町に通っていたのを、川口からの通勤に変えればよいということになる。これはどういうことかということ、郊外に住宅を持つのは難しいということになる。要するに、東京に通う必要がある人は、東京に住むということだ。

また、大宮から川口への通勤に変えても良い。この場合、地元志向だろう。地元で就職する人が今後増えるということだ。そういう意味では、地方や郊外は、企業を誘致する必要がある。もしくは、リモートワークをすれば良い。

この2点から、東京と郊外や地方の間には壁ができたことになる。壁を越えられる人もいるが、まあそれは限られている。

ということは、東京での商売は、基本的に東京の住人向けになる。以前のように、郊外の客を引き寄せること難しいだろう。

これは、海外観光客についても言える。飛行機に乗る距離を50%にするわけだから、年齢が若くなるにつれて（90年比で考えると。）来客が減るだろう。そもそも飛行機での移動権を持っている人が50代以下では多くないからだ。だから、海外観光客も、感染症が収まれば、多少戻るだろうが、年々減る傾向だろう。そういうわけで、観光客頼りの商売も難しい。

以上の2点を踏まえて、東京の商売が難しいと言うのなら、今のうちに商売替えしておくべきだろう。

142. 人でなく情報を動かした方が安い

2021/2/14

ジョウシキノヨウニ、カイシャマデツウキンシテイタヒトガオオカッタトオモウガ、カンセンショウサワギデ、ソレガカワツキタ。ジタクデモ、シゴトガデキルジャナイカトイウワケデアル。ツウキンニ、イチニチニセンエンツヲカケテイタトスレバ、カイシャニカヨワナケレバ、イッカゲツデロクマンエンヲセツヤクデキル。コレハ、チイサクナイガクデアル。メールデシゴトケツカヲオクレバ、ツキゴセンエンノヒヨウデスムダロウ（パソコンノイジヒハノゾク。）。ソレデスムナラ、ソノホウガイイダロウ。ヒトヲウゴカスヨリ、ジョウホウヲウゴカシタホウガヤスイトイウコトダ。アタリマエダ。オモサヲハカツテミルトイイ。

サテ、シゴトトハナシダロウ。ケツキヨクハ、ナニカヲダレカニワタスコトデハナイカ。モノダツタリ、ジョウホウダツタリオカネダツタリダ。コレヲウゴカストシゴトニナ

ルトイウコトダ。ウゴカサナイト、シゴトデハナイ。コレニメヲツケタンダロウ。ガツシュウコクジンハ、コレラミツツノイドウニ、カンスルビジネスデ、イチバンヲメザスト、キュウジュウネンダイニシタ。オンラインショップハツヨイシ、ソフトウェアヤカンレンサービスモツヨイ。ヨウスルニ、シゴトヲタスケルコトヲシゴトトシタワケダ。コレニハ、フケイキハアツテモ、イツマデモツツクシゴトデアル。シゴトノインフラトモイエルシゴトデアル。

ニホンジンモ、コレガマエカラワカッテイタラ、カイガイデモツヨサービスガデキタカモシレナイ。シカシ、キヅイタダケマシダ。コノシゴトノインフラギョウデ、カイガイゼイトキョウソウスレバイイダケデアル。ナニカヲタスケルシゴトデアル。リョウリヲミセニタベニイッタホウガ、コストガヒクイカハカンガエヨウデアロウ。シカシ、ブツリガクデイエバ、ゴキロノミチノリヲ、ロクジュッキロノヒトガオウフクスルヨリモ、イッキロノリョウリヲハコンデモラッタホウガエネルギーハスクナクテスウ。ソウイウコウリツカスルナニカガアリソウデアル。

143. 日本人は海賊版を使うべからず（日中戦争の原因と再発防止について）

2021/2/20

日中の関係が悪いと考える人がいる。私に言わせれば、それは日本人の方が悪い。どういうことか。それは、経済的な関係が悪いのである。軍がでるのは、最終的な手段であろう。その前に交渉をする。場合によっては、もうからないが軍がでる。何故交渉が決裂するか。それは、双方が、経済的な利益を譲らないからである。そういうわけで、問題はだいたい経済的な問題だ。中国が民主主義を導入しないといても、それは、やはり経済的な問題であろう。つまり、中国人は、民主主義を求めているか、それが高すぎるのであろう。何かを買う買わないは、それぞれの自由である。それを他人がどうこういうものではない。

漢字を発明したのは中国人である。つまり、漢字製品は中国人が作った。それを日本人が取り入れて使っている。特に、昔は、大臣や官僚が使っていただろう。この場合は、漢字の利用料を請求されても払えただろう。金があるからだ。ところが、それを庶民に教えるようになった。江戸時代の寺子屋である。その場合も、寺子屋の主が、その分の利用料を支払えば、問題はないだろう。ところが、明治に入って、学校教育となった。全員に教えるわけである。この場合も、教育を指導する立場の人が、漢字の利用料を支払えば問題はない。しかし、習った生徒は、卒業後、その先生などとの関係が切れしまうだろう。それでは、指導する立場の人が支払えない。個人で支払う必要が出てくる。政府がまとめて支払っても良いだろうが、くだらない文を書く人もいるわけだから、それは、個人が負担すべきだろう。

その後、日清ないしは、日華の関係が悪化した。これはなぜだろう。当時のある作家は、「日本の首都を洛陽（中国の中部）に置いてしまえ。」などと書いている。洛陽というのは、漢の時代の首都である。これは、解釈すると、中国の文化を奪ってしまえということではないか。漢字など（中国人は、他に、紙、火薬などいろいろなものを発明し

た。)の利用料を払うのではなく、漢字などを奪ってしまえというわけだ。当時、その利用料の支払いが滞ったかわからないが、そういう線で戦争になった。私が思うには、利用料の支払いが滞ったのだろう。先に述べた、経済関係の悪化である。

日本人はおそらくそれで、中国に攻め込んだ。最終的には、攻めきれず、合衆国に負かさされた。その後、また学校で漢字を教えている。つまり、また同じ問題が継続されているということである。ただ、昔と同じように、戦争ではしょうがない。今度は、多分負けるだろう。つまり、経済的に解決しなければならないということである。単純に言えば、漢字などの利用料を払えばよい。それができないのであれば、別の何かを供与すべきであろう。中国のことを良く思っていない人は、その自分の問題を考える必要があるだろう。

この著書は、不定期連載のコラムに掲載されたものを編集して構成されました。日付は発表日。

あとがき

経済(学)という、お金やモノ(やサービス)の移動の問題を扱う。これは、物理学という運動の問題に近い。だからか、私は、物理学と経済学を主なテーマにしている。扱う単位が、原子ではなくて、お金という化合物に変わっただけだ。それを直に観察こともあるが、お金が沢山あると仮定することもできるので、理屈を言うこともある。

そのお金が沢山あるという仮定は、だいたいその人の財布の中身と関係ないので、なんでそういうことを言うんだと嫌がられることもあろう。しかし、公共投資は政府の仕事だと思われているが、一人分の公共投資をすることも可能だ。良い経済学者は、政府に公共投資をしろという場合には、ご自分でも、少なくとも一人分の公共投資をしているんだと思う。私は、今のところ、個人的には緊縮財政政策をとっている。政府にも付き合ってもらいたいが、それは、原則的には、政府の自由である。それに文句を言うのは、評論家の仕事のようにも思う。とりあえず、気づいたことを書いた。お役に立てたのなら良かったと思う。

2021年9月18日

時事レポート 2017—2020

エイゾウ（齋造）

2020年9月20日

iii toga kb001

<http://iiitoga.com>

tsushin@iiitoga.com

<http://eizo09.com>

エイゾウのホン

『アルクカラカンガエル』ニセンジュウゴネン

『むしのツゴウニンゲンのツゴウ』ニセンジュウシチネン

『よろこぶゲンシジン』ニセンジュウハチネン

『オンガクイチエンのジダイ』ニセンジュウハチネン

『スーペリアーをみつけた。』ニセンジュウキュウネン

『ウンドウはすべてエレクトリック。』ニセンジュウキュウネン

『エルガク～ひとりブツリガクのチョウセン』ニセンジュウキュウ

『ものみダイからのケイザイガク』ニセンジュウキュウネン

『ひかりのあるところにはジュウリョクがある。』ニセンジュウキュウネン

『シソウしそう』ニセンニジュウネン

『シソウしそう ニカン』ニセンニジュウネン

『シツギョウヲヘンピンシテハイカガカ。』ニセンニジュウイチネン

『エルガクニ〜ヒトリブツリガクノシンテン』ニセンニジュウイチネン

『モノノハイチハ、ジュウリョクダケデカタレナイ。』ニセンニジュウイチネン

エイゾウのデンシサイトからコウニュウできます。

『時事レポート 2017～2020』

著 エイゾウ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
